

第四、直系血族、配偶者及同居ノ親族又ハ家族ノ間ニ於テ窃盜罪又ハ同未遂罪ヲ犯シタルトキ(二百四十四條)

前項ノ犯罪ハ親告罪ナリ

刑ヲ減輕セラル可キカ將タ免除セラルヘキヤハ各罪狀ニ依リテ相異ナリ茲ニ一々其例示ヲナス能ハサルナリ

第二節 刑ノ免除ヲ受クヘキ場合

第一、内亂罪ノ豫備又ハ陰謀ヲナシ又ハ兵器金穀ノ資給其他ノ行為ヲ以テ内亂罪ヲ幫助シタル者ト雖モ未タ暴動ニ至ラサル前自首シタル者(八十條)

第二、外國ニ對シ私ニ戰鬪ヲ爲ス目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲スト雖モ自首シ出テタル者(九十三條)

第三、放火ノ目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ情狀ニ因リテ其刑ヲ免除ス(百十三條)

第四、殺人ノ目的ヲ以テ其豫備ヲ爲シタル者ハ情狀ニ因リテ其刑ヲ免除ス(二百一條)

第五、直系血族、配偶者及同居ノ親族又ハ家族間ニ於ケル窃盜罪及其未遂罪(二百四十四條)

第六、直系血族、配偶者及同居ノ親族及ヒ是等ノ者ノ配偶者間ニ於ケル贖物ニ關スル罪ヲ犯シタル場合(二百五十七條)

以上數個ノ場合ハ假令其罪ヲ犯スト雖モ刑ノ免除ヲ受クルコトヲ得ヘキ特典ヲ有ス抑モ々々刑ノ免除又ハ減輕ナルモノハ何レモ罪狀ニ依リテ言渡サルヘキ特典トモ稱スヘキモノニシテ法律上當然享クヘキ權利トナス能ハサルナリ、法律上當然享クヘキ權利ニ非スト雖モ之レヲ主張シ得ヘキ權利ナリ、之レヲ主張シ得ヘキカ故ニ亦刑法上ニ於ケル一種ノ權利タルハ爭フヘカラス、只其主張カ容レラルト否ハ裁判官ノ心證如何ニ存ス

第六章 各犯罪特殊規定

第六 各犯罪特殊規定

刑法各本條ニ於テ特ニ規定セラタル各犯罪擬律特殊條項左ノ如シ

一、外患罪ニ關スル規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス(八十九條)

戰時同盟國ノ行動ハ帝國ト同一ノ利害ヲ有ス故ニ我刑法ノ規定ハ直ニ以テ戰時同盟國ニ對スル犯罪ニ適用スヘキモノナリ

一、犯人藏匿及證憑煙滅ノ罪ハ犯人又ハ逃走者ノ親族ニシテ犯人又ハ逃走者ノ利益ノ爲メニ犯シタルトキハ之ヲ罰セス(百五條)

犯人ノ親族カ犯人ノ爲メ或ハ藏匿シ或ハ證憑煙滅ヲ圖ルハ人情上止ムヲ得サルコトニ屬ス之レヲ通常人ノ如ク罰スルトキハ各犯罪生スル毎ニ必ス此犯罪ヲ生スルノミナラス却テ犯罪檢舉ノ不便ヲ醸ス故ニ寧ロ之レヲ罰スルノ利益ヨリ罰セサルヨリ受クル利益ノ大ナレハ全然罰セサルコトトハナシタルナリ立法ノ精神亦之レニ外ナラサルヲ信ス

三、人ノ心神喪失若クハ抗拒不能ニ乘シ又ハ之ヲシテ心神ヲ喪失セシメ若クハ抗拒不

能ナラシメテ猥褻ノ行爲ヲ爲シ又ハ姦淫シタル者モ亦暴行又ハ脅迫ヲ以テナシタルモノハ例ニ同シ(百七十八條)

心神喪失抗拒不能ノ間ニ於テ行ヒタル猥褻姦淫罪ハ其結果ニ於テ異ナル所ナキカ故ニ法律ハ暴行又ハ脅迫ヲ以テ爲シタルモノト同一ノ刑ニ罰ス

四、二人以上ニテ暴行ヲ加ヘ人ヲ傷害シタル場合ニ於テ傷害ノ輕重ヲ知ルコト能ハス又ハ其傷害ヲ生セシメタル者ヲ知ルコト能ハサルトキハ共同者ニ非スト雖亦其犯ハ例ニ仍ル

之レ傷害罪中特殊規定ナリ第一編其犯ノ部ヲ參照セハ酌然タルモノアラン

五、竊盜財物ヲ得テ其取還ヲ拒ミ又ハ逮捕ヲ免レ若クハ罪跡ヲ煙滅スル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキハ強盜ヲ以テ論ス(二百二十八條)

六、人ヲ昏醉セシメテ其財物ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス(二百二十九條)

以上二個ノ場合ハ何レモ強盜罪中ノ特例ナリ、前號ノ分ハ所謂居直リ強盜ノ場合ニ

シテ本號ノ場合ハ藥種其他ノ方法ヲ以テ人ヲ昏醉セシメタル場合ニ行ヒタル犯罪ナ  
リ、假令ハ他人ノモノヲ盜取セント企テ、之レニ酒ヲ飲マシメ醉眠藥ヲ服セシメ  
或ハ亦催眠術其他神靈上ノ不可思議ヲ以テ人ヲ昏醉セシメテ行ヒタル盜罪ハ凡テ強  
盜ナリ所謂消極的ノ強取ナリ

七、自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シ又ハ公務所ノ命ニ依リ他人ノ看守シタルモノ  
ナルトキハ他人ノ財物ト看做ス(二百四十二條)

強盜竊盜詐欺橫領等ノ各犯罪ニ對スル特殊ノ規定ナリ説明ヲ要セサルヘシ

八、電氣ハ之レヲ財物ト看做ス(二百四十五條)

是亦強盜竊詐欺橫領罪等ノ特殊規定ナリ、從來電氣即チ電流ハ財物ナリヤ否ヤニ付  
テ法曹社會ノ議論喧シカリシモ刑法改正ト共ニ此規定ヲ看ルニ至リ亦論難ノ要ナキ  
ニ至ル

九、自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シタルモノナルトキハ他人ノ

物ト同一ニ看做サル(二百六十二條)

毀棄及隱匿罪中ノ特殊規定ナリ、別ニ説明ノ要ナカルヘシ

以上ノ外猶ホ特殊ノ規定トナルヘキモノナキニ非サルモ各犯罪ニ對スル刑罰ノ輕重ヲ  
記スルニ當リ大要ヲ網羅シテアリケレハ茲ニハ以上九ケニノミ止ムルコト、ハナシヌ

### 第七章 警察犯處罰令

警察犯處罰令ハ舊刑法違警罪ニ屬スルモノニシテ刑法ト異ナル所ハ只重要ナル法益ヲ  
侵害スルト否ラサルトニ在リ從テ之レカ裁判即チ言渡モ亦警察權中ニ包含セシメラレ  
タリ、故ニ正式ノ裁判ヲ得ント欲セハ不服ヲ管轄區裁判所ニ申立テサルヘカラス  
警察犯處罰令ハ四條第五十八號ヨリ成リ主刑ヲ拘留及科料トシ附加刑ヲ沒收トス、凡  
テ第一編刑法總則ノ部ヲ適用シテ處斷スヘキモノナレハ掲ケテ茲ニ再說セス

#### 第一 三十日以下ノ拘留犯

第七警察犯處罰令  
第一 三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科料犯

左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ三十日以下ノ拘留ニ處セラルヘシ(第一條)

一、故ナク人ノ住居若ハ看守セサル邸宅、建造物及船舶内ニ潜伏シタル者

刑法第三百十條住居ヲ侵ス罪ト同一ニシテ彼レハ人ノ看守セル邸宅等ニ侵入シタル場合ニシテ之レハ人ノ看守セサルモノニ潜伏シタル場合ナリ、茲ニ潜伏トハ人ノ目ヲ避クル行爲ニシテ多少ノ時間的繼續ヲ要ス其一時の立入りタルカ如キハ侵入ニシテ潜伏トナス能ハス

二、密淫賣ヲ爲シ又ハ媒合若ハ容止ヲ爲シタル者

密淫賣トハ公然ニ對スル語ニシテ報酬ヲ得テ男子ノ色慾ヲ充タサシムルヲ云フ、即チ營利ノ目的ヲ以テ男子ニ交接ヲ許シタルヲ以テ既遂トナリ現物ノ受授ハ犯罪ノ成否ニ關係ナシ、媒合トハ仲立若クハ取持ノ謂ヒニシテ、容止トハ淫賣場ノ供給ナリ本犯ニ付キ注意スヘキ點ハ密淫賣ヲナス婦女カ十三歳ニ滿タサルモノナルコトヲ知リ若クハ有夫ノ婦ナルコトヲ知リテ犯シタル場合ノ犯罪ナリ此場合ニ於テハ前者ハ

刑法百七十七條ノ姦淫罪トナリ後者ハ本夫ノ縱容ナキ場合ニ於テハ百八十三條ノ姦通罪トナル

密淫賣ノ主體ハ男子ニテモ可ナリト説ク論者アリト雖モ密淫賣ハ必スシモ女子タルコトヲ要シ男子ノナシタルトキハ以テ本號ノ適用ヲナスヘカラサル也

三、一定ノ住所又ハ生業ナク諸方ニ徘徊スル者(三號)

浮浪徘徊犯ナリ、人ハ一定ノ住所又ハ生業ナカルベカラズ茲ニ住所トハ民法ニ所謂生活ノ本據ニシテ生業トハ法律ニ違反セサル職業ナリ定マリタル住所ナク生業ナクシテ諸方ニ徘徊スルモノハ皆本號ニ仍リテ罰セラル  
彼ノ遊食無賴ノ徒ノ徘徊ノ如キハ社會生活ノ秩序ニ危害ヲ與フルコト少ナカラズ警メサルベカラズ

四、故ナク面會ヲ強請シ又ハ強談威迫ノ行爲ヲ爲シタル者(四號)

強請面談及強談威迫犯ナリ、人ハ面會及談話ノ自由ヲ有ス意思ニ反スルモノハ之

レヲ爲サ、ルモ可ナリ、茲ニ面會ヲ強請トハ意思ニ反スル面會ヲ強ユルヲ云ヒ、強  
談威迫ノ行爲トハ人ノ意思ニ反シ談判ヲ強請シ若クハ威力ヲ以テ迫害スヘキ行爲ヲ  
爲シ、他人ニ恐怖心ヲ生セシムルヲ云フ、若シ一歩ヲ進ミテ暴行脅迫又ハ恐喝ニ亘  
ルトキハ刑法上ノ犯罪トナル要スルニ本號所定ハ社會交際秩序維持ニ外ナラス

### 第二一 三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科料犯

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科料ニ處ス(第二條

一、合力喜捨ヲ強請シ又ハ強テ物品ノ購買ヲ求メタル者

合力喜捨強請又ハ物品強賣犯ナリ、茲ニ合力トハ通俗乞食ト同シク他人ヨリ物品又  
ハ財物ヲ乞ヒ受クルヲ謂ヒ、喜捨トハ淨財ノ投資ヲ受クル謂ヒニシテ假令ハ義捐  
金、寄進、救恤ノ如シ、物品ノ購買トハ動産物購求ナリ此レ等ノ行爲ハ之レヲ強請  
シ得サルモノナリ、之レヲ自然ニ放任セハ社會生活上ノ秩序ヲ紊亂ス

二、乞巧ヲ爲シ又ハ爲サシメタル者

乞巧犯ナリ、乞巧トハ所謂乞食ナリ爲サシメタル者トハ教唆犯ニ非ラスシテ犯人ノ  
爲メニ保護ヲ與フヘキ者カ其責ヲ盡ササル場合ノ如ク所謂消極的ノ教唆犯ナリ

三、濫ニ寄附ヲ強請シ又ハ收利ノ目的ヲ以テ強テ物品、入場券等ヲ配付シタル者

寄附強請及物品強制配付ナリ、保安警察取締上ノ必要ヨリ本號アリ

四、入札ノ妨害ヲナシ又ハ共同入札ヲ強請シ若ハ落札人ニ對シ其事業又ハ利益ノ分配  
若ハ金員ヲ強制シタル者

入札妨害犯ナリ、請負業者間ノ惡習ニシテ其弊害仲々斷絶スル不能是又保安警察取  
締上ノ必要ヨリ本號アリ

五、他人ノ業務ニ對シ惡戯又ハ妨害ヲ爲シタル者

業務妨害犯ナリ、解説ヲ要セス

六、新聞紙、雜誌其他ノ方法ヲ以テ誇大又ハ虛偽ノ廣告ヲ爲シ不正ノ利ヲ圖リタル者

第二 三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科料犯

誇大又ハ虚偽廣告犯ナリ、誇大トハ誇張擴大ニシテ虚偽ハ偽リナリ故ニ實業界ノ信用ヲ損スル上ニ於テ取締ノ必要アリ

七、新聞紙、雜誌其他ノ出版物ノ購讀又ハ廣告掲載ニ付強テ其申込ヲ求メタル者  
出版物購讀強請及廣告掲載強請犯ナリ

八、申込ナキ新聞紙、雜誌其他ノ出版物ヲ配布シ又ハ申込ナキ廣告ヲ爲シ其代料ヲ請求シタル者

新聞雜誌出版物無斷配布代金請求及申込ナキ廣告掲載料金請求犯ナリ

九、祭事祝儀又ハ其行列ニ對シ惡戯又ハ妨害ヲ爲シタル者

祭事妨害及祝儀妨害並ニ行列妨害犯又ハ惡戯犯ヲ處斷スル法文ナリ、其祭事祝儀行列ハ公私ノ區別ヲ論セス

十、自己占有ノ場所内ニ老幼、不具、又ハ疾病ノ爲メ扶助ヲ要スル者若クハ人ノ死屍、死胎アルコトヲ知リテ速ニ警察官吏ニ申告セサル者

前項ノ死屍、死胎ニ對シ警察官吏ノ指揮ナキニ其現場ヲ變更シタル者  
不申告犯及無斷死體現狀變更犯ニシテ何レモ消極行爲犯ナリ

十一、公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ於テ喧噪シ横臥シ又ハ泥酔シテ徘徊シタル者風俗紊亂罪ナリ解説ヲ要セサルヘシ

十二、公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ於テ濫ニ車馬舟筏其他ノ物件ヲ置キ又ハ交通ノ妨害ト爲ル可キ行爲ヲ爲シタル者

交通妨害犯ナリ、刑法上ノ交通妨害罪ト全然其性質ヲ異ニセリ

十三、公衆ノ自由ニ交通シ得ル場所ニ於テ危険ノ虞アル時點燈其他ノ豫防ノ装置ヲ爲ス義務ヲ怠リタル者

交通危険豫防懈怠犯ナリ

十四、劇場寄席其他公衆會同ノ場所ニ於テ會衆ノ妨害ヲ爲シタル者  
會衆妨害犯ナリ、會衆ノ公私ハ之レヲ論セス

十五、雜沓ノ場所ニ於テ制止ヲ肯セス混雜ヲ増スノ行爲ヲ爲シタル者  
制止違反、雜沓犯ナリ

十六、人ヲ誑惑セシムヘキ流言浮説又ハ虚報ヲ爲シタル者  
流言浮説虚又ハ報虚犯ナリ

十七、妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符呪等ヲ爲シ若ハ守札類ヲ授與シテ人ヲ惑ハシメ  
タル者

人心誑惑犯ナリ

十八、病者ニ對シ禁厭祈禱符呪ヲ爲シ又ハ神符神水等ヲ與ヘテ醫療ヲ妨ケタル者  
醫療妨害犯ナリ、衛生警察上ノ必要ヨリ本號生ス

十九、濫ニ催眠眠ヲ施シタル者

催眠術濫用犯ナリ、茲ニ濫リニトハ法令又ハ慣習ニヨリ容認セラレタル範圍ヲ超過  
スルヲ云フ

二十、官職、位記、勳爵、學位ヲ詐リ又ハ法令ノ定ムル服飾徽章ヲ僭用シ若ハ之レニ  
類似ノモノヲ使用シタル者

本號ハ官職詐稱、位記詐稱、勳爵詐稱、學位詐稱、服飾僭用、徽章僭用ノ諸犯ナリ

二十一、官署ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ其義務アル者ニシテ故ナク申述ヲ肯セサル  
者

虚偽申述罪ナリ、刑法上偽證ト其性質ヲ異ニス

二十二、人ノ飲用ニ供スル淨水ヲ汚穢シ又ハ其ノ使用ヲ妨ケ若ハ其水路ニ障礙ヲ爲シ  
タル者

飲用水汚穢犯及ヒ水路障礙犯ナリ

二十三、河川溝渠又ハ下水路ノ疏通ヲ妨ク可キ行爲ヲ爲シタル者  
水流妨害犯ナリ

二十四、自己又ハ他人ノ身體ニ刺文シタル者

第二 三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科罰犯

身體刺文犯ナリ、人體ノ美德ハ天然ニアリ之レニ人工ヲ施スハ敢テ咎ムヘキ行爲ニ  
アラスト雖刺文ノ如キハ人體損傷ニシテ風俗壞亂ナリ

二十五、出入ヲ禁止シタル場所ニ濫ニ出入シタル者

出入禁止違犯ナリ、無論官公署ノ命令ニ基キタル場所タルヲ要ス

二十六、官公署ノ榜示シ若ハ官公署ノ指揮ニ依リ榜示セル禁條ヲ犯シ又ハ其設置ニ係  
ル榜示ヲ汚漬シ若ハ撤去シタル者

標榜汚漬及ヒ撤去犯ナリ、是亦官公署ノ設置ニ係ハルモノナルコトヲ要ス

二十七、水火災其他ノ事變ニ際シ制止ヲ肯セスシテ其現場ニ立入り若ハ其場所ヨリ退  
去セス又ハ官吏ヨリ援助ノ求メヲ受ケタルニ拘ラス傍觀シテ之レニ應セサル  
者

事變ノ際官命抗拒犯ナリ

二十八、濫ニ他人ノ標燈又ハ社寺、道路、公園其他公衆用ノ常燈ヲ消シタル者

常燈消火犯ナリ、茲ニ濫リニトハ正當ノ理由ナクシテノ意ナリ

二十九、他人ノ田野園圃ニ於テ菜果ヲ採摘シ又ハ花卉ヲ採折シタル者

田園果卉菜果採犯ナリ、無論他人ノ所有地タルコトヲ要ス

三十、使用者ニシテ勞役者ニ對シ故ナク其自由ヲ妨ケ又ハ苛酷ノ取扱ヲ爲シタル者  
勞働者虐待犯ナリ

三十一、濫ニ他人ノ身邊ニ立塞リ又ハ追隨シタル者

身邊妨害犯ナリ

三十二、他人ノ身體物件又ハ之ニ害ヲ及ホス可キ場所ニ對シ物件ヲ抛澆シ又ハ放射シ  
タルモノ

物件ノ抛澆及放射犯ナリ、若シ他人ニ害ヲ加フベキ意思ヲ以テ本號ノ行爲アリタル  
トキハ刑法上ノ制裁アリ

三十三、神祠、佛堂、禮拜所、墓所、碑表、形像其ノ他之レニ類スル物ヲ汚漬シタル



者

一九〇

神祠、佛堂、禮拜所、墓所、碑表形像等汚漬犯ナリ、故意ヲ以テ犯シタルトキハ刑法上ノ犯罪トナル

三十四、人ノ死屍又ハ死胎ヲ隠匿シ又ハ他物ニ紛ハシク擬裝シタル者  
死體隠匿及擬裝犯ナリ

三十五、一定ノ飲食物ニ他物ヲ混シテ不正ノ利ヲ圖リタル者  
飲食物他物混合犯ナリ、有害物ナルトキハ刑法上ノ制裁アリ

三十六、不熟ノ果物、腐敗ノ肉類、其他健康ヲ害ス可キ飲食物ヲ營利ノ用ニ供シタル者

不正飲食物營利犯ナリ

三十七、濫ニ人ノ繫キタル舟筏、牛馬其ノ他ノ獸類ハ解放シタル者  
舟筏獸類解放犯ナリ

### 第三 二十圓未滿ノ科料犯

二十圓未滿ノ科料ニ處セラルベキ犯罪ハ警察犯處罰令第三條ノ規定ナリ即チ、如左、

例ニ例リテ法條ノ順序ニ掲出ス

一、許可ナクシテ人ノ死屍又ハ死胎ヲ解剖シ又ハ之カ保存ヲ爲シタル者

無免許死屍解剖犯ナリ、死屍ノ解剖等ハ絶體ニ之レヲ行フベキモノニアラズ假令其

職ニ在ルモノト雖モ官公署ノ許可ヲ要ス

二、公衆ノ目ニ觸ルキ場所ニ於テ祖揚、裸裸シ又ハ臀部、股部ヲ露シ其他醜態ヲ爲シタル者

醜態犯ナリ、世間尤モアリ得ベキ犯罪ナリ

三、濫ニ街路ニ於テ尿尿ヲ爲シ又ハ爲サシメタル者  
街路放尿尿犯ナリ、尿尿ハ大小便ナリ

第三 三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科料犯

一九一

- 四、濫ニ銃砲ノ發射ヲ爲シ又ハ火藥其他劇發ス可キ物ヲ玩ヒタル者  
銃砲濫發及劇發物玩弄犯ナリ
- 五、家屋其他ノ建造物若ハ引火シ易キ物ノ近傍又ハ山野ニ於テ濫ニ火ヲ焚ク者  
焚火犯ナリ、本犯ハ危險罪ノ一種ニシテ、犯シタル焚火カ必スシモ危險ノ狀態ナルヲ要ス
- 六、石灰其他自然發火ノ虞アル物ノ取扱ヲ忽ニシタル者  
發火物取扱懈怠犯ナリ、懈怠トハ不注意ナリ
- 七、開業ノ醫師、產婆故ナク病者妊婦、產婦ノ招キニ應セザル者  
醫師、產婆拒招犯ナリ、無論開業者ニシテ故ナク拒絕シタルモノナルコトヲ要ス
- 八、故ナク官公署ノ召喚ニ應セザル者  
官公署ノ召喚抗拒犯ナリ、茲ニ召喚トハ法律上ノ方式ニ依リ召喚スルモノニ非サル凡テノ呼出行爲ナリ

九、炮煮、洗滌、剥皮等ヲ要セズ其儘食用ニ供ス可キ飲食物ニ覆蓋ヲ設ケズ店頭ニ陳列シタル者

飲食物ニ對スル衛生不注意犯ナリ

十、濫ニ禽獸ノ死屍及汚穢物ヲ棄擲シ又ハ之レカ取除ケノ義務ヲ怠リタル者  
汚穢物棄擲及之レカ義務懈怠犯ナリ

十一、監置ニ係ル精神病者ノ監護ヲ怠リ屋外ニ徘徊セシメタル者  
精神病者監護懈怠犯ナリ、茲ニ監護トハ監督及ビ保護ノ義ナリ

十二、濫ニ犬其他ノ獸類ヲ啖シ又ハ驚逸セシメタル者  
獸類使啖及驚逸犯ナリ

十三、狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ逸走セシメタル者  
狂犬及猛獸繫鎖懈怠犯ナリ

十四、公衆ノ目ニ觸ル可キ場所ニ於テ牛馬其他ノ動物ヲ虐待シタル者

第三 三十日以下ノ拘留又ハ二十圓以下ノ科料犯

動物虐待犯ナリ

十五、濫ニ他人ノ家屋其他工作物ヲ汚瀆シ若ハ之レニ貼紙ヲ爲シ又ハ他人ノ標札招牌、賣貸家札其他榜標ヲ汚瀆シ又ハ撤去シタル者

工作物汚瀆犯ナリ

十六、橋梁又ハ堤防ヲ損壞スル虞アル場所ニ舟筏ヲ繫キタル者

危険場所ニ舟筏繫留犯ナリ

十七、通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ此ニ牛馬諸車ヲ牽入レタル者

田圃通行犯ナリ

警察犯處罰令ニ規定シタル違反行爲ヲ教唆シ又ハ幫助シタルモノト雖モ尙ホ刑法上ノ犯罪ノ如ク各本條ニ依リテ處罰セラルベシ、然リト雖モ元ト是レ輕微ノ犯罪ニシテ情情ニ依リテ其刑ヲ免除スルコトアルカ如キハ全令ノ特色トスル所ナリ

## 第八章 決闘ニ關スル罰則

(明治二十二年十二月二十日法律第三十四號)

傷害行爲ニシテ傷害罪ニ非ズ、殺人行爲ニシテ殺人罪ニモアラズ、双方同一ノ犯意ヲ以テ殺傷ヲ目的トスルモノ之レヲ決闘罪ト云フ

決闘トハ所謂果シ合ナリ、西洋諸國ニ於テ昔時盛シニ行ハレタル蠻風ナリ、其死ヲ以テ互ニ黑白ヲ爭ハント欲スル所大ニ男兒ヲシキ所アリト雖モ、成文法ノ制定アル邦國ニ於テハ決シテ如此蠻的行爲ヲ許サ、ルナリ

今左ニ決闘ニ關スル罰則ヲ掲記セン

第一條 決闘ヲ挑ミタル者又ハ其挑ニ應シタル者ハ六月以上二年以下ノ懲役ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

決闘ノ決意ヲ以テ決闘ノ合意成立シタルトキハ双方共本條ニ仍リテ所罰セラル、茲ニ決闘ヲ挑ミタル者又ハ其挑ニ應シタル者トハ決闘ノ當事者ナリ

第二條 決闘ヲ行ヒタル者ハ二年以上五年以下ノ懲役ニ處シ、二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

決闘ノ合意成立シテ犯罪ニ着手シタル者ハ互ニ傷害行為ヲキ場合ト雖モ本條ニ因リテ處斷セラルベシ、若シ殺害傷害行為生ジタルトキハ次條ニ依リ刑法上ノ制裁ヲ受ク

第三條 決闘ニ依リテ人ヲ傷害シタルモノハ刑法ノ各本條ニ照シテ處斷ス

刑法ニ於ケル殺人罪ノ刑罰ハ死刑又ハ無期若クハ三年以上ノ懲役刑ニシテ傷害行為ハ十年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ナリ、即チ決闘ニ仍リテ勝ヲ得タル者ハ刑法ノ制裁ヲ受ケ負ケタルモノハ相手方ヨリ苦痛ヲ受ク若シ双方共ニ傷害シタルトキハ双方共所罰セラル

第四條 決闘ノ立會ヲ爲シ又ハ立會ヲ爲スコトヲ約シタル者ハ證人介添人等何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ハラズ一月以上一年以下ノ懲役ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

情ヲ知テ決闘ノ場所ヲ貸與シ又ハ供用セシメタル者ハ罰前項ニ同ジ

決闘ノ立會人、介添人、證人等ノ如キハ決闘ノ幫助ナリ故ニ本條ニ仍リ處罰セラル若シ其情ヲ知リテ場所ノ貸與又ハ供用スルモノモ亦幫助タル性質ヲ失ハザルガ故ニ同一ニ處罰セラルベキナリ

第五條 決闘ノ挑ニ應ゼザルノ故ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ刑法ニ照シ誹毀ノ罪ヲ以テ論ズ

刑法ノ誹毀罪トハ名譽ニ關スル犯罪ナリ之レニ對スル刑罰ハ一年以上ノ懲役又ハ禁錮若クハ五百圓以下ノ罰金刑ニシテ親告罪ナリ

第六條 前數條ニ記載シタル犯罪刑法ニ照シ其重キニ從テ處斷ス若シ此罰則ニシテ刑法ノ罰則ヨリ輕キトキハ刑法ノ刑罰ニ因リテ處斷セラルベキ規定ニシテ別ニ説明ヲ要セザルベシ

## 第九章 爆發物取締罰則

一九八

(明治十七年十二月二十七日太政官府布告第三十二號)

爆發物取締罰則ハ二十二條ノ法文ヨリナル法規ニシテ(第十條ハ削除セラル)最重刑死刑ヨリ以下各種ノ罰則アリ以下之レヲ詳述セン

一、治安ヲ妨ケ又ハ人ノ身體財産ヲ害セントスル目的ヲ以テ爆發物ヲ使用シタル者及ビ人ヲシテ之レヲ使用セシメタル者ハ死刑ニ處ス(第一條)

治安妨害又ハ身體財産ニ危害ヲ加ヘント欲スル目的ヲ以テ爆發物ヲ使用シタルモノハ假令其目的ヲ達スルト否トヲ論ゼズ死刑ニ處セラルベシ、茲ニ爆發物トハ火藥其他爆發物スベキ物體又ハ氣體ヲ云フ

二、無期又ハ有期懲役ニ處セラルベキ罪(第二條)

前第一條ニ記載シタル目的ヲ以テ爆發物ヲ使用セントスルノ際事發覺シタル者ハ無期又ハ有期懲役ニ處セラルベシ

尙ホ第一條ノ犯人ヲ藏匿若クハ隱避又ハ罪證ヲ煙滅シタル者ハ其刑ヲ減輕シテ本條ニ仍リテ處斷セラル

三、有期懲役ニ處セラルベキ犯罪(第三條、第四條、第五條)

有期懲役ニ處セラルベキ犯罪左ノ如シ

一、第一條ノ目的ヲ以テ爆發物若クハ其使用ニ供スベキ器具ヲ製造輸入所持シ又ハ

注文ヲ爲シタル者(第三條)

二、第一條ノ罪ヲ犯サント欲シテ脅迫、教唆、煽動ニ止マル者及ビ共謀ニ止マル者

(第四條)

三、第一條ニ記載シタル犯罪ノ爲メ情ヲ知テ爆發物若クハ其使用ニ供スベキ器具ヲ製造輸入販賣讓與寄藏シ及ビ其約束ヲ爲シタル者(第五條)

四、一年以上五年以下ノ懲役ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加スベキ犯罪

(第六條)

第九 爆發物取締罰則

一九九

此刑ニ處セラルベキ者左ノ如シ

爆發物製造輸入所持シ又ハ注文ヲ爲シタル者第一條ニ記載シタル犯罪ノ目的ニ非ザルコトヲ證明シ能ハザルトキ(第六條)

五、五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處スベキ者

此刑ニ處スベキモノ左ノ如シ

爆發物ヲ發見シタル者ニシテ直ニ警察官吏ニ告知セザル者(第七條)

六、六月以上五年以下ノ懲役ニ處セラルベキ犯罪

本則ニ記載シタル重大ノ犯罪即チ第一乃至第三ノ犯罪アルコトヲ認知シテ直ニ警察官吏又ハ其害ヲ被ラントスル人ニ告知セザル者(第八條)

七、刑ノ減輕ヲ受クベキ者

前號所載ノ犯人ヲ藏匿シ若クハ隱避セシメタル者又ハ其罪證ヲ煙滅シタル者ハ正犯ノ刑ヨリ減輕セラル

八、刑ノ免除ヲ受クベキ者

死刑ニ處セラルベキ犯罪ノ豫備ヲナシ未ダ發覺ニ至ラザル以前ニ於テ自首シ出デタルモノハ其刑ヲ免除セラル但シ此場合ニハ危險ヲ爲スニ至ラザルコトノ條件ヲ要ス

### 第十章 銃砲火藥類取締法

(四十三年四月法律第五十三號)

第一、左ノ場合ニ該當スルモノハ二年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處セラル(第十六條)

(一)行政官府ノ委托又ハ許可ナクシテ(1)銃砲ノ製造(第一條)(2)火藥類ノ製造又ハ變形若クハ修理(第二條)(3)銃砲火藥類ノ輸出入(八條九條)

(二)行政官府ノ許可ヲ得ズシテ銃砲火藥類ノ製造又ハ販賣ヲ營ム者(三條)

(三)銃砲火藥類ノ製造販賣變形修理ニ關シ行政官府ヨリ許可ヲ受ケタル者ガ其許可

ノ取消又ハ其事業ノ停止若クハ制限ノ命令(五條)ニ違反シタル者又ハ銃砲火藥類ノ輸出入ノ禁令制限(第十一條)ニ違反シタル者

而シテ銃砲火藥類ノ輸出入(第八條)又ハ輸出入禁止(第十一條)ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テハ尙ホ未遂罪モ處罰セラル可シ(十六條二項)

第二、銃砲火藥類ノ授受運搬携帯ノ禁止及制限(第十二條)ノ命令ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮若クハ三百圓以下ノ罰金ニ處セラル可シ

第三、危害豫防ノ爲メ銃砲火藥類ノ製造若クハ貯藏竝ニ改築修繕又ハ火藥類ニ關シ若クハ其貯藏運搬其他取扱ニ關シ取締上必要ナル處分命令(十條ノ二)ニ違反シタル者又ハ銃砲火藥類ノ製造所貯藏所其他銃砲火藥ヲ收藏スル疑アル場所ニ臨檢又ハ銃砲火藥類及之ヲ收藏スル疑アル物件若クハ營業上ノ帳簿其他ノ書類ノ檢査(十條ノ一)及行政官府ノ銃砲火藥類ノ假領置(第十三條)ニ依ル當該官吏ノ職務ノ執行ヲ拒ミ若クハ之レヲ妨ケタル者又ハ其執行ニ際シ當該官吏ノ尋問ニ

對シ答辯ヲ爲サズ且ツ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處セラル

第四、法令ノ規定ニ依ラズ又ハ行政官府ノ許可ヲ得ズシテ軍用銃砲、火藥類ノ讓渡讓受又ハ其製造若クハ販賣ヲ爲シタル者(第六條)銃砲火藥類ヲ行商シ又ハ市場露店其他屋外ニ於テ販賣シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラル

### 第十一章 印紙犯罪處罰法

(四十二年法律三九號)

一、行使ノ目的ヲ以テ印紙ノ偽造變造ナシタルモノハ五年以下ノ懲役ニ處ス消印除去シタル者亦同シ(一條)

二、同上行使及不正使用者ノ罪亦右ニ同シ(二條)

三、印紙再使用者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラル(三條)

### 第十二章 銃砲火藥取締法施行規則

(四十四年敕令十六號)

- 一、許可ナクシテ火藥類授受、運送等ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留科料ニ處ス(四十六條)
- 二、貯藏及使用規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス(四五條)
- 三、届出ズベキ規定アルモノ、違反者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(四七條)

### 第十三章 銃砲火藥類取締法施行規則

(四十四年省令二號)

- 一、標準色紙等ノ偽造者及不適合ノ貯藏所ニ火藥類ヲ貯藏シタル者ハ三月以下ノ懲役拘留又ハ百圓以下ノ罰ニ處ス(五十四條)
- 二、許可證認可證又ハ文書受領若ハ檢聞セズシテ讓渡又ハ讓受ヲナシタルモノハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(五十五條)

### 第一節 火藥類船舶運送及貯藏規則(四十四年省令九號)

- 一、規則違反ノ船長ハ百圓以下ノ罰金ニ處セラレ(二十三、二十四條)

### 第十四章 外國ニ於テ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券偽造變造及ヒ模造ニ關スル件

(三十八年三月二十日法律第六十號)

外國ニ於テ流通スル通貨及銀行券、證券ヲ偽造變造シタルモノヲ所罰スル法律ニシテ全編十一條ヨリ成ル單獨法律ナリ

- 一、流通セシムルノ目的ヲ以テ外國ニ於テノミ流通スル金銀貨、紙幣、銀行券帝國官府發行ノ證券ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ有期懲役ニ處ス(第一條一項)
- 外國ニ於テノミ流通スル云々トハ戰時若クハ其他ノ場合ニ於テ外國ニ於テ或一地域内ヲ限リ流通セシムル軍票切符割符其他ノ貨幣ヲ云フ
- 二、金銀貨以外ノ硬貨ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ二年以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第十四 外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及ヒ模造ニ關スル件 二〇五



(同條第二項)

金銀貨以外ノ硬貨トハ金銀貨幣ニ非サル金屬製貨幣ノ謂ニシテ假令バ白銅又ハ銅貨ノ如シ

三、流通セシムルノ目的ヲ以テ偽造變造ニ係ハル以上ノモノヲ帝國又ハ外國ニ輸入シタル者亦以上ノ例ニ同シ(第二條)

本條ハ偽造變造ノ貨幣及證券等ヲ輸入シタル者ニ對スル制裁ナリ

四、情ヲ知テ以上ノモノヲ行使シ若クハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル者ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス(第三條一項)

知情行使罪及ビ偽造變造物授受罪ニ科スル罰則ニシテ共ニ一種ノ幫助犯ナリトス

五、收得シタル後偽造變造ナルコトヲ知リテ行使シ又ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタルモノハ其名價ノ三倍以下ノ罰金ニ處ス但シ二圓ヲ下ルコトヲ得ズ(第三條二項)

本條ハ偽造變造物ヲ收受シタル後其偽造又ハ變造ナルコトヲ知リテ之レヲ行使シタル者若クハ流通ノ目的ヲ以テ更ニ他人ニ交付シタルモノヲ罰スル法條ナリ

六、偽造又ハ變造物ノ器械又ハ原料ヲ製造シ授受シ又ハ準備シ若クハ外國人ニ輸入シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス(第四條)

本條ハ犯罪用ノ器械又ハ原料ヲ製造シ授受準備シタルモノニ科スル法則ナリ別ニ說明ヲ要スルコトナシ

七、販賣スルノ目的ヲ以テ第一條ニ記載シタル物ニ紛ラハシキ外觀ヲ有スル物ヲ製造シ又ハ帝國外ニ輸入シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス(第五條一項)

前項ニ記載シタル物ヲ販賣シタル者亦同シ(同條第二項)

第五條ハ模造ニ關スル犯罪ナリ說明ヲ要セズシテ灼然タルベシ

八、以上ノ犯罪ノ未遂ハ之レヲ罰ス(第六條)

第十四章 外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及ビ模造ニ關スル件 二〇七

未遂罪ノ處罰法ハ刑法未遂犯ノ例ニ依ル

九、以上ノ罪ヲ犯カシ偽造又ハ模造物ノ未ダ授付又ハ行使セラレサル前ニ於テ官ニ自首シタル者ハ其刑ヲ免除スルコトヲ得(第七條)

自首ニ關スル特典ナリ

十、本法ノ罪ヲ犯カシ外國ニ於テ既ニ其確定裁判ヲ受ケ刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得(第九條)

本法ノ罪ヲ犯カシ外國ニ於テ既ニ其刑ノ執行ヲ受ケタルモノニ對シテハ重ネテ執行ノ要ナク從テ本條ノ規定アリ

本法ニ記載シタル物件ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハズ行政ノ處分ヲ以テ之レヲ官沒スト第十條ニ規定アリテ司法行政共ニ其偽造變造模造物全滅ヲ圖レ

### 第十五章 通貨及証券模造取締法

(二十八年四月五日法律第二十八號)

模造トハ偽造及ビ變造ト異ナリ、署名若シクハ印章等全然實物ニ相異ナルモ只其外觀ニ於テ紛ラハシキ製作物ナルヲ云フ、

本法第一條ニハ其定義の規定ヲ爲シテ曰ハク

第一條 貨幣、政府發行紙幣、兌換銀行券、國債證券及地方債券ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ製造シ、又ハ販賣スルコトヲ得ス

ト即チ本法ノ支配權ヲ受クベキモノハ貨幣外五種ノモノニ限ラレ其刑罰ハ左ノ如シ

一、前條ニ違反シタルモノハ一月以上三年以下ノ禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス(第二條)

若シ夫レ偽造物件ハ刑法ニ依リ沒收スルハ勿論ナリト雖モ沒收セザル場合ニ於テハ何人ノ所有ヲ問ハス警察官ニ於テ之レヲ破燬スベシ(第三條)

### 第十六章 紙幣類似證券取締法

(明治二十九年五月八日法律第五十一號)

類似ハ模造ト異ナリ全ク内容ノ擬似セルヲ云フ、即チ一定ノ形式ヲ有シ其作用紙幣ト同一ナルモノハ本法ニ於テ固ク其發行及流通ヲ禁止セラル、若シ犯シタルモノハ左ノ通り處分セラルベシ

一、禁止ニ違反シテ證券ヲ發行シ又ハ其證券ヲ授受シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處シ其證券ヲ沒收ス(第三條參項)

二、禁止ニ違反シテ證券ヲ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタルモノ、罰亦以上ニ同シ(同條二項)

主務大臣ハ本法ノ違反者アルコトヲ知リタルトキハ直チニ之レヲ公告シテ處分ニ着手スルモノトス若シ公告後ニ發行シ又ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル證券ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハズ行政處分ヲ以テ官沒ス(第四條)

### 第十七章

懸賞又ハ富籤類似其他射倖ノ方法ヲ用ヒムコトヲ提供シ又ハ投票ヲ募集スル行爲ニシテ公安又ハ風俗ヲ害スル虞アリト認ムルモノ、取締法

(四十二年八月十四日內務省令第百二〇號)

公安又ハ風俗ヲ害スル虞アル懸賞又ハ富籤類似其他射倖ノ方法ヲ用ヒムコトヲ提供シ又ハ投票ヲ募集スル行爲ニ付キ北海道長官各府縣知事(東京市ハ警視總監)ノ禁止又ハ制限ノ命令ニ違反スル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處セラル  
情ヲ知リテ其ノ行爲ニ附隨シテ寄贈ヲ申出テ又ハ提供ヲ應諾シ若クハ投票ヲ用ヒ又ハ投票ノ結果ニヨリ彰表物ヲ受ケタル者ハ科料ニ處セラル

### 第十八章 命令ノ條項違反ニ關スル罰則

(明治二十三年九月十八日法律第四十八號)

第十七 懸賞又ハ富籤類似其他射倖ノ方法ヲ用ヒムコトヲ提供シ又ハ投票ヲ募集スル行爲ニシテ公安又ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムルモノ、取締法  
第十八 命令ノ條項違反ニ關スル罰則

一、命令ノ條項ニ違反スル者ハ各其ノ命令ニ規定スル所ニ從ヒ二百圓以下ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

茲ニ命令トハ一定ノ形式ヲ有セル官府ノ發スル制規ヲ云フ

### 第三編 帝國憲法關係法規

#### 第一章 衆議院議員選舉法

(明治三十三年三月二十九日法律第七十三號)

衆議院議員選舉法中罰則ニ關スル規定(第十一章)ヲ列記セハ左ノ如シ

- 一、詐欺ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者又ハ第三十四條二項(投票管理  
者ハ投票ヲ爲サントスル選舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハサルトキハ其  
ノ本人ナル旨ヲ宣告セシムヘシ其宣言ヲナサ、ル者ハ投票ヲ爲ス事ヲ得ス)ノ場  
合ニ於テ虚偽ノ宣言ヲ爲シタル者ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス(八十六條)
- 二、選舉ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ一月以上一年以下ノ禁錮ニ  
處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス(第八十七條)
- 一、選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其他ノ利益若クハ公私ノ職務ヲ選

舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與センコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込  
ヲ承諾センコトヲ周施勸誘シタル者並供與ヲ受ケ若クハ申込ヲ承諾シタル者

二、選舉ニ關シ酒食、遊覽等其他ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ又  
ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選舉會場、開票所若ハ投票所ニ往復スル爲船車馬ノ  
類ヲ供與シ又其供給ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ宿泊料ノ類ヲ代辨シ及其ノ代辨ヲ  
受ケタル者並是等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

三、選舉ニ關スル選舉人又ハ其關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對ス  
ル用水小作、債權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其誘  
導ニ應シタル者

前項ノ場合ニ於テ其收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ既ニ費消シタルモノハ其ノ價ヲ追  
徴ス

三、左ノ各號ニ該當スル者ハ二月以上二年以下ノ禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金

ヲ附加ス(八十八條)

一、選舉ニ關シ選舉人ニ暴行ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

二、選舉人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐欺ノ手段ヲ以テ選舉權ノ行使ヲ妨害シ若ハ

投票ヲ爲サシメタル者

三、選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對ス  
ル用水小作、債權其他ノ利害關係ヲ利用シ選舉人ヲ威逼シタル者

四、左ノ場合ニハ二月以上二年以下ノ禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
(八十九條)

一、選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人及監視者選舉人ノ投票シタル被選舉人  
ノ氏名ヲ表示シタル者

二、其表示シタル事實虛偽ナルトキ

五、左ノ場合ニハ一月以上一年以下ノ禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス(九十

條)

- 一、投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ承認スルノ方法ヲ行ヒタル者
- 二、法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者
- 六、暴行、脅迫、騷擾、投票函其他ノ關係書類抑留、毀壞、奪掠者、ハ左ノ區別ニ從テ處斷セラル
  - 一、投票管理者、開票管理者、選舉長、立會人若ハ選舉監視者ニ暴行ヲ加ヘ又ハ選舉會場、開票所、若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其他ノ關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者ハ四月以上四年以下ノ禁錮ニ處ス(九十一者第一項)
  - 二、多衆ヲ嘯聚シテ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ有期禁錮ニ處シ其情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ一月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス(九十一條二項)
  - 三、選舉人、議員候補者若ハ選舉運動者ヲ脅迫シ又ハ選舉會場、開票所、投票所ヲ

- 騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ六月以上三年以下ノ禁錮ニ處シ其情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ十五日以上三月以下ノ禁錮ニ處ス(九十二條一項)但シ犯罪者ニ於テ人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ兇器ヲ携帯シタルトキハ刑ヲ加重セラルヘシ
- 四、左ノ場合ニハ二年以下ノ禁錮又ハ五圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
  - 一、選舉人、議員候補者及選舉運動者ニシテ選舉ニ關シ銃砲、槍戟、刀劍、竹槍、棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件ヲ携帯シタル者(九十二條)
  - 二、以上ノ物件ヲ携帯シテ選舉會場、開票所若ハ投票所ニ入りタル者ハ其刑ヲ加重セラルヘシ(九十四條)
- 警察官吏又ハ憲兵ニシテ前記載ノ物件ヲ携帯シタル者アルコトヲ知リ且ツ必要ト認メタルトキハ該物ヲ領置スルコトヲ得ヘシ(九十三條二項)
- 五、左ノ場合ニハ十五日以上六月以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處

ス(九十五條)

選舉ニ關シ氣勢ヲ張ルノ目的ヲ以テ多衆聚合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ烟火、  
篝火、松明ノ類ヲ用ヒ若ハ鐘鼓、法螺、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用ウル  
等ノ所爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ尙其命ニ從ハザル者

六、以上犯罪ノ教唆犯ハ左ノ如シ

以上ノ所爲ヲナサシムル目的ヲ以テ演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等  
ノ方法ヲ以テスルニ拘ハラズ人ヲ教唆シタル者ハ其各條ニ依リ處斷ス但シ新聞雜誌  
ニ在リテハ各其署名シタル編輯人ヲ處斷ス(九十六條)

七、左ノ場合ニハ六月以下ノ禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(九十七條)

當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札、其ノ他何等ノ方法  
ヲ以テスルニ拘ハラズ議員候補者ニ對シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル者但シ新聞雜誌ニ  
アリテハ署名編輯人ヲ處斷ス

八、左ノ場合ニハ一月以上二年以下ノ禁錮ニ處シ十月以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(九十八條)

選舉人タルコトヲ得ザルモノニシテ投票ヲ爲シタル者及ビ氏名ヲ詐稱シテ投票ヲナ  
シタル者

九、左ノ場合ニハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス(九十九條)

立會人正當ノ事故ナクシテ選舉法ノ義務ヲ缺キタルトキ

衆議院議員選舉法上ノ罰則以上記述スル所ノ如シ罰則ノ結果ハ左ノ如キ效果ヲ生ズ

一、警察官吏又ハ憲兵ニ於テ領置シタル兇器ハ之レヲ沒收ス、但シ領置トハ一時的ノ  
處分ニシテ全然沒收スベキモノニ非ズ只裁判未確定ノ間之レヲ犯罪者ノ手ヨリ相  
當官吏ノ手ニ移スニ過ギザルナリ(百條)

二、當選人ニシテ若シ以上ノ犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其當選ハ無効トス  
(百一條)

三、選舉ニ關スル犯罪ニ仍リ刑ニ處セラレタル者ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ刑期後二年以上八年以内選舉人及被選舉人タルコトヲ得ズ(百〇二)

四、本法ニ依リ處斷スベキ犯罪ハ六ヶ月ヲ以テ時効ニ依リ消滅スベシ之レ普通刑罰ニ對シ著シキ差違アル點ナリトス(百三條)

## 第四編 民法

### 第一章 民法上ノ罰則

民法中罰則ニ關スル規定ハ第一編總則第二章法人ノ部ニ於テ一ヶ條アルノミ左ニ之レヲ掲出セン

一、法人ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處セラル(八十四條)

一、本章ニ定メタル登記ヲ怠リタルトキ  
法人ハ設立ノ日ヨリ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スコトヲ要スルハ民法第四十五條ノ規定スル所ナリ、然シテ設立後ト雖モ新タニ事務所ヲ設ケタルトキハ一週間内ニ又登記事項中ニ變更ヲ生ジタルトキモ亦一週間内ニ事務所移轉ノ場合ニ於テハ舊新所在地ニ於テ一週間ノ期間内ニ登記申請ヲナサザルベカラズ



二、民法五十一條ノ規定ニ違反シ又ハ財産目録若クハ社員名簿ニ不正ノ記載ヲナシタルトキ

民法五十一條ニ法人ハ設立ノ時及ビ毎年始メノ三ヶ月内ニ財産目録ヲ作り常ニ之ヲ事務所ニ備置クコトヲ要ス但特ニ事業年度ヲ設クルモノハ設定ノ時及ビ其年度ノ終リニ之レヲ作ルコトヲ要ス

社団法人ハ社員名簿ヲ備ヘ置キ社員ノ變更アル毎ニ之レヲ訂正スルコトヲ要ストノ規定アリ、他ヲ論ゼズシテ明赫々タラン

三、民法第六十七條又ハ八十二條ノ場合ニ於テ主務官廳又ハ裁判所ノ検査ヲ妨ケタルトキ

民法六十七條ハ主務官廳ノ監督權行使ノ爲メ何時ニテモ職權上法人ノ業務及ビ財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得ベキ規定ニシテ、八十二條ハ法人ノ解散及清算ハ裁判所ノ監督ニ屬スベキ規定ニシテ裁判所ハ何時ニテモ職權上検査ヲ爲スコトヲ得ベキ規

定ナリ、六十七條ノ場合ニハ理事者ハ監事、八十二條ノ場合ニハ清算人處斷セラル

四、官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

官廳又ハ總會ニ對シテハ最モ誠實ニ盡サルベカラズ若シ虛偽隱蔽アリタルトキハ法人ノ代表者ハ直ニ訴追セラルベシ

五、民法第七十條又ハ八十一條ノ規定ニ反シ破産宣告ノ請求ヲ怠リタルトキ、民法七十條ハ法人ガ債務完済資力ナキニ至リタル場合ニ於テ理事又ハ債權者ノ請求ニ依リ破産宣告ヲ請求スベキ規定ニシテ八十一條ハ法人解散シ其清算中ニ債務完済無資力發見ノ場合ニ清算人ヨリ爲スベキ請求ナリ

六、民法第七十九條又ハ八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

第七十九條ハ清算人就職ノ日ヨリ二ヶ月内ニ少ナクモ三回ノ公告ヲ以テ債權申出請求公告ヲナスベキ規定ニシテ八十一條ハ清算人ガ破産宣告ヲ請求シタル場合ニ其旨

ヲ公告スベキ規定ナリ

### 第二章 戸籍法上ノ罰則

家アレバ必ず人アリ、人アレバ亦必ず戸籍アリ、而カモ戸籍ハ國民ノ族籍ニ關スル最重要ノ證明機關ニシテ、最モ嚴格ナラザルベカラズ、嚴格ナルガ故ニ罰則ノ制ヲ設ケテ國民ヲ戒飾ス、所定ノ罰則左ノ如シ

一、戸籍法ノ規定ニ依リ期間内ニ爲スベキ届出又ハ申出ヲ怠リタル者ハ十圓以下ノ過料ニ處セラル(二百二十條)

過料トハ讀ンデ字ノ如ク過チ料ニシテ制裁法規中最モ輕キモノナリ、戸籍法上ノ財產刑ハ皆過料ナリ

抑モ戸籍上ノ期間内ニ爲スベキ届出又申請トハ如何ト云フニ大要下ノ如シ

一、出生ハ十日以内ニ届出ツベシ(六十八條)

二、婦ガ前婚解消後法定期間(六ヶ月)ヲ存セズシテ再婚シタル結果子ノ出生アリタル場合ニ於テ子ノ父ヲ定ムル裁判(民法八百二十一條)確定シタルトキハ確定ノ

日ヨリ一ヶ月内ニ登記ノ取消ヲ申請スベシ(七十三條)

三、棄兒ヲ發見シタル場合ニハ二十四時間内ニ届出ツヘシ(七十五條)

四、棄兒ノ引受人又ハ育兒院ニ變換アリタルトキハ十日以内ニ届出ツヘシ(同)

五、棄兒ノ父又ハ母現出シテ兒ヲ引取ルトキハ一ヶ月内ニ棄兒發見登記ノ取消ヲ申請スヘシ(七十六條)

六、航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時間内ニ制規ノ手續ヲ經テ航海日誌ニ記載シ日本港ニ着シタルトキハ二十四時間内ニ其戸籍吏ニ航海日誌ノ謄本ヲ送付ス(七十八條)

七、嫡出子否認ノ裁判確定シタルトキハ確定ノ日ヨリ一ヶ月以内ニ制規ノ届出ヲ爲スヘク既ニ出生ノ登記ヲ爲シタル者ニ付テハ登記ノ變更ヲ申請スヘシ(七十九條)

- 八、遺言ニ依リ嫡出子認知ヲナシタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遺言カ効力ヲ生シタル日ヨリ十日以内ニ制規ノ届出ヲ爲スヘシ(八十三條)
- 九、胎内ニテ認知シタル子カ死體ニテ分娩シタルトキハ出生届出義務者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ認知取消ヲ申請スヘシ(八十四條)
- 十、養子縁組ノ無効又ハ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴訟提起者ハ確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ制規ニ依リ登記取消ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス(九十二條)
- 十一、養子縁縁ノ裁判確定シタルトキハ起訴者ハ確定ノ日ヨリ十日内ニ制規ノ届出ヲナスヘシ(九十九條)
- 十二、婚姻ノ無効又ハ取消ノ裁判確定シタルトキハ起訴者ヨリ一ヶ月内ニ登記取消ノ申請ヲ爲スヘシ(百六條)
- 十三、離婚ノ裁判確定シタルトキハ起訴者ヨリ十日以内ニ届出ヘシ(百十一條)
- 十四、後見人ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ届出ツヘシ(百十四條)

- 十五、更迭ニ依ル後見人就職ノ場合亦同シ(百十七條)
- 十七、隠居取消裁判確定シタルトキハ起訴者ハ一ヶ月内ニ登記取消ノ申請ヲナスヘシ(百二十二條)
- 十八、失踪宣告裁判確定シタルトキハ宣告請求者ハ十日以内ニ届出ツルコトヲ要ス(百二十三條)
- 十九、失踪宣告取消裁判確定シタルトキハ取消請求者ハ一ヶ月内ニ登記取消申請ヲナスヘシ(百二十四條)
- 二十、死亡者アリタルトキハ届出義務者カ其死亡ヲ知リタル日ヨリ五日以内ニ届出義務者ヨリ届出ツヘシ(百二十五條)
- 二十一、航海中ノ死亡者ハ艦長又ハ船長ニ於テ二十四時間内ニ制規ノ手續ニ依リ航海日誌ヘ記載シ着船後二十四時間内ニ戸籍吏ニ送付ス(百三十條)
- 二十二、本籍不明ノ死亡者ノ本籍分明シタルトキ百二十六條一項ニ號ノ届出義務者

(同居者)ハ十日内ニ届出ヲナスコトヲ要ス(百三十二條二項)

二十三、家督相續ニ依リ戸主トナリタルモノハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ届出ツヘシ(百三十三條)

但シ相續人カ外國ニアルトキハ三ヶ月内ニ届出ノ發送ヲ以テ足ル

二十四、家督相續回復ノ裁判確定シタルトキハ回復者ハ一ヶ月内ニ相續登記取消ノ申請ヲナスコトヲ要ス(百三十四條)

二十五、家督相續人カ胎兒ナルトキハ母ハ相續開始ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ制規ノ手續ニ依リ届出ヲナス(百三十五條)

二十六、胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ出産ノ日ヨリ一ヶ月内ニ登記取消ヲ申請スヘシ(百三十六條)

若シ母カ取消申請ヲ爲サ、ルトキハ家督相續人ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ登記取消ヲ申請スヘシ(同條二項)

二十七、推定家督相續人廢除ノ裁判確定シタルトキハ被相續人ハ十日以内ニ届出スヘシ(百二十七條)

遺言ニ基ク場合ニハ遺言執行者ヨリ其届出ヲナス

二十八、推定家督相續人廢除取消ノ裁判確定シタルトキハ一ヶ月内ニ登記取消ヲ申請スルヲ要ス(百二十九條)

二十九、家督相續人ノ指定カ効力ヲ失ヒタルトキハ指定者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月以内ニ登記取消ヲ申請スヘシ(百十五條)

三十、離籍ニ因リ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ届出ツヘシ(百四十九條)

三十一、復籍拒絶其他ノ理由ニ依リ一家ヲ創立シタルモノハ十日内ニ制規ニ依リテ届出ツヘシ(百五十一條)

三十二、絶家ノ家族ニシテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ

届出ツヘシ(百五十三條)

三十三、歸化シタル者ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ届出ツヘシ(百五十九條)

三十四、國籍喪失者ハ喪失前其届出ヲナサ、ルトキハ喪失後十日以内ニ者届出ヲナスヘシ

三十五、國籍回復許可者ハ許可ノ日ヨリ十日内ニ届出スヘシ(百六十三條)

三十六、氏ヲ復舊又ハ改稱シタル者ハ十日内ニ届出ヘシ(百六十四條)

三十七、華士族ニ列セラレ又ハ華士族ノ稱ヲ失ヒタル者ハ十日以内ニ届出ツヘシ(百六十五條)

三十八、身分登記變更申請ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニナス(百六十八條)

三十九、就籍ノ届出ハ許可裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ツヘシ(百九十八條)

四十、除籍ノ届出ハ許可裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ヘシ(百九十九條)

十圓ノ過料ニ處セラルヘキモノ以上ノ如シ詳細ハ各本條ヲ參照スヘシ

二、期間内ニ届出又ハ申請ヲ爲サ、ルニ依リ戸籍吏カ期間ヲ定メテ届出又ハ申請催ノ

告ヲナシタル場合ニ於テ尙ホ其届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處ス、二回以上戸籍吏ノ催告ニ應セサル者亦同シ(二百十一條)

戸籍法上所定ノ期間内ニ届出申請ヲ怠リタル者ニ對シテ八十圓ノ過料處分アルコト前號述フル所ノ如シ 而シテ其怠リタル者ニシテ戸籍吏ノ催告ニ遇フモ尙ホ怠リタルトキハ更ニ本條ノ規定ニ依リ處斷セラル本罪ハ何回ニテモ重複シテ罰ヲ科セラルヘシ

三、戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テ三十圓以下ノ過料ニ處セラル(二百十二條)

一、正當ノ理由ナクシテ身分又ハ戸籍ニ關スル届出若クハ申請ヲ受理セサルトキ

二、身分登記又ハ戸籍ノ記載ヲナスコトヲ怠リタルトキ

四、戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テ十圓以下ノ過料ニ處セラルヘシ(二百十三條)

一、正當ノ理由ナクシテ身分登記又ハ戸籍簿ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

二、正當ノ理由ナクシテ身分登記又ハ戸籍ノ謄本若クハ抄本ヲ交附セス又ハ身分若クハ戸籍ニ關スル届出又ハ申請ノ受理ノ證明書ヲ交附セザルトキ

五、以上事件ノ裁判管轄(二百十四條)

戸籍法第二百十四條ニ曰ハク

本章ニ定メタル過料ノ裁判ハ過料ニ處セラルベキ者ノ住所又ハ居所ノ地ヲ管轄スル區裁判所之レヲ爲ス其裁判及裁判執行ニ付テハ非訴事件手續法ノ規定ヲ準用スト以テ解説ノ要ナカルベシ

六、左ノ場合ニハ十一日以上四年以下ノ禁錮又ハ二圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處セラ  
ルモノ(二百十五條)

自己又ハ他人ノ利ヲ圖リ若クハ他人ヲ害スル目的ヲ以テ身分又ハ戸籍ニ關シ詐僞ノ届出若クハ申請ヲ爲シタル者

戸籍法反則中最モ重大ナル犯罪ナリ 彼虚偽ノ事ヲ作り華族ノ養嗣子トナリ若クハ他

人ノ私生兒ヲ自己ノ嫡出子ノ如ク入籍スルカ如キ世間其例少ナカラズ

### 第二章 臺灣ニ寄留スル内地人ノ寄留及ヒ出產死

#### 七等ニ關スル届出方

(明治三十二年八月四日臺灣總督府令第八十八號)

一、左ノ場合ニハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス(第六條)

制規ノ期間内ニ届出ヲナサ、ル者

二、左ノ場合ニハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス(第六條)

虚偽ノ届出ヲ爲シタル者及ビ警察官吏ノ尋問ニ答ヘス又ハ答フルニ實ヲ以テセサル者ニシテ刑法ヲ適用セサル場合ニ限ル

### 第四章 寄留ニ關スル届出方

(明治十九年九月廿八日内務省令第十九號)

第三章 臺灣ニ寄留スル内地人ノ寄留及ヒ出產死亡等ニ關スル届 二二三

第四章 寄留ニ關スル届出方

正等ノ事由ナクシテ制規ノ期間ニ届出サル者ハ一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス  
出寄留入寄留ノ届出ノ期間ハ事實發生ヨリ十日以内トス(六條乃至十條)

## 第五編 商法

### 第一章 改正商法上ノ罰則

#### 第一節 會社編

二十七議會ノ議題中商法改正案ハ最モ紛紜ヲ醸シタル一トシテ記憶新タナリ、蓋シ規定ノ内容ガ現世ニ云々セルニ非ズ 罰則ノ改正アリシガ爲メナリ、其論難スル所亦吾人共ニ同シカルベシ 著者亦織思存セサルニ在ラズト雖トモ徒ニ議論ニ涉ルハ本書ノ目的ナラズ 遺憾！茲ニハ罰則ニ止ム

第一、發起人、取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員 監査役、検査役又ハ株式會社若シクハ株式合資會社ノ支配人ハ左ノ場合ニ於テ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス(二百六十一條)

一、會社ノ設立若クハ資本ノ増加又ハ其登記ヲナシ若クハ之ヲ爲サシムル目的ヲ以

テ株式總數ノ引受又ハ資本ニ對スル拂込額ニ付キ裁判所又ハ總會ヲ欺罔シタルトキ

二、何人ノ名儀ヲ以テスルヲ問ハス會社ノ計算ニ於テ不正ニ其株式ヲ取得シ又ハ管權ノ目的トシテ之ヲ引受ケタルトキ

三、法令又ハ定款ノ規定ニ違反シテ利益又ハ利息ノ配當ヲ爲シタルトキ

四、會社ノ營業ノ範圍外ニ於テ投機取引ノ爲メニ會社財産ヲ處分シタルトキ  
前項ノ規定ハ刑法ニ正條アル場合ニハ之ヲ適用セス

第二、發起人、會社ノ業勢ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テ八十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ヲ科スベキトキハ此限ニ在ラズ(二百六十二條)

一、官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二、規定ニ違反シテ合併、會社財産ノ處分資本ノ減少又ハ組織ノ變更ヲ爲シタルトキ

キ(七十八條乃至八十條ノ規定)

三、検査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ

四、規定ニ違反シテ株式ヲ消却シタルトキ(百五十一條二項ノ規定)

五、規定ニ違反シテ株券ヲ無記名式ト爲シタルトキ(百五十五條一項ノ規定)

六、規定ニ違反シテ破産宣告ノ請求ヲ爲スルコトヲ怠リタルトキ(百七十四條二項及民法八十一條ノ規定)

七、規定ニ請反シテ準備金ヲ積立テサルトキ(百九十四條ノ規定)

八、規定ニ違反シテ社債ヲ募集シ又ハ債券ヲ發行シタルトキ(二百條及二百五條一項ノ規定)

九、規定ニ依ル裁判所ノ命令ニ違反シタルトキ(二百六十條ノ規定)

十、會社カ裁判所ノ命令ニ因リ解散シタル場合ニ於テ清算人ニ事務ノ引渡ヲ爲サ、ルトキ

十一、清算ノ結了ヲ遅延セシムル目的ヲ以テ民法第七十九條ノ期間(二ヶ月ヲ下ルコトヲ得ス)ヲ不當ニ定メタルトキ



十二、民法第七十九條ノ期間内(二ヶ月)ニ或債權者ニ辨濟ヲナシ又ハ第九十五條

(本法)ノ規定ニ違反シテ會社財産ヲ分配シタルトキ

第三、發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス但シ其行爲ニ付キ刑ヲ科スベキ場合ハ此限ニ非ズ(二百六十二條ノ二)

一、本編ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ忘リタルトキ

備考、登記ハ會社存在ニ關スル最大要件ナリ左ニ其ノ場合ト期間トヲ掲グ

A 合名會社ノ部

イ、設立ノ登記ハ定款ヲ作リタル日ヨリ二週内(五十一條一項)

ロ、支店設置ノ登記ハ本支店所在地ニ於テ同一期間内(同條二項)

ハ、移轉ノ場合ニハ新舊所在地ニ於テ同一期間内(五二條)

ニ、登記事項變更ノ場合ニハ本支店所在地ニ於テ同一期間内(五三條)

ホ、解散ノ場合ニハ合併又ハ破産ノ場合ヲ除ク外本支店所在地ニ於テ同一期間内

(七六條)

ヘ、合併ノ場合ニハ本支店所在地ニ於テ同一期間内(八一條)

ト、組織變更ノ場合ニハ本支店所在地ニ於テ同一期間内(八三條ノ三)

チ、清算人選任ノ場合ニハ本支店所在地ニ於テ同一期間内(九〇條)

リ、清算人登記中ニ變更ヲ生シタルトキ同上(九七條)

ヌ、清算終了登記ハ遲滞ナク本支店所在地ニ於テ(九九條)

ル、設立無効判決確定ノ場合モ同上(九九條ノ五)

ヲ、事業着手後其設立ヲ取消サレタルトキハ二週内(百條)

B、合資會社ノ部

合資會社ニハ合名會社ノ規定ヲ準用セラルベキニ付キ茲ニハ只商法中別段ノ規定アル部分ニ付テノミ出掲ス

イ、設立登記ハ定款作成ノ日ヨリ二週間内(一〇七條)

ロ、組織變更ニ依ル解散ノ場合ニハ二週間(一一八條二項及一一八項ノ二)

株式會社ノ部

株式會社ノ登記ニ關シテモ亦タ合名會社ノ規定ヲ準用セラレベキニ付キ特ニ規定アル部分ノミノ掲出ニ止ム

イ、設立ノ登記ハ發起人ガ株式總數ノ引受ヲシタルトキハ調査(百二十四條ノ法定事項)終了ノ日ヨリ否ラザルトキハ創立總會終結ノ日ヨリ二週間内(百四十一條)

ロ、社債募集ノ場合ニハ全拂込ノ日ヨリ同一期間内(二〇四條)

ハ、資本増加ノ場合ニハ株主總會終結ノ日ヨリ同一期間内(二一七條)

株式合資會社ノ部

株式合資會社ニ關シテハ別段ノ定メアル場合ノ外株式會社ノ規定ヲ準用セラレベシ

(二三六條二項)

イ、設立ノ登記ハ創立總會終結ノ日ヨリ二週間内(二四二)

ロ、組織變更ノ場合ニハ債權者ノ承認又ハ辨濟若クハ担保義務履行ノ日ヨリ同一期間内(二五四條)

二、本編ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告若クハ通知ヲ爲シタルトキ(二六二條ノ二ノ二號)

公告若クハ通知ヲナスベキ場合ヲ列擧スレバ

- イ、合名會社員除名通知(七〇條)ロ、合名會社合併決議公告(七八條)ハ、株主總會招集通知會日ヨリ二週間前(一五六條)ニ、無記名株券發行ノ場合ニ於ケル總會招集公告(一五六條三項)ホ、議案承認ノ公告(一九二條二項)ヘ、社債募集公告(二〇三條)ト、假決議ノ通知(二〇九條二項)チ、無記名株券發行ノ公告(同上)リ、合併ノ公告(二二三)ヌ、解散通知及公告(二二四條)

三、本編規定ニ依リ閱覽ヲ許スベキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閱覽セシメザルトキ  
(二六二條ノ二)

閱覽ヲ許スベキ書類左ノ如シ

イ、營業年度末ノ目錄及貸借對照表(一一一條)ロ、會社有要帳簿ノ閱覽(一七一條、  
(一九一條)

四、本編ノ規定ニ依リ検査又ハ調査ヲ妨ケタルトキ

イ、合資會社有限責任社員ノ検査(一一一條一、二項)ロ、株式會社定時總會ニ於ケ  
ル調査(一五八條)ハ、監査役ノ調査(一八一條)等ヲ以テ本號違反事件ノ主要ナル  
モノトス

五、規定ニ違反シテ開業ノ準備ニ著手シタルトキ

六、規定ニ違反シ株式申込證又ハ社債申込證ヲ作ラス之ニ記載スベキ事項ヲ記載セ  
ズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ(一二六條ノ二項二〇三條二項二一二條ノ三第

一項二三八條二項)

七、規定ニ反シテ株券ヲ發行シタルトキ(一四七條一項、二一七條三項)

八、株券又ハ債券ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

九、定款、株主名簿、社債原簿、總會決議錄、財産目錄、貸借對照表、營業執告書事務報  
告書、損益計算書及ヒ準備金並ニ利益又ハ利益配當ニ關スル議案ヲ本店若クハ支  
店ニ備ヘ置カス、之ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ、  
十、規定ニ違反シ株主總會ヲ招集セザルトキ(一七四條ノ一項一九八條二項)

第二章 手形編

手形編中罰則ニ關スル規定ハ小切手ニ關スル一規定アリ即チ左ノ如シ

一、振出人ガ支拂人ヲシテ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得ル金額ヲ超エテ小切手ヲ振出シ  
タルトキハ五圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス(五三六條)

## 第二章 破産法上ノ罰則

破産法ハ舊商法破産編ヲ施行セリ、早晚改正セラルベキ法律ナルモ茲ニ同法上ノ罰則規定ヲ摘記セン

破産法上ノ罰則ニ有罪破産ニ對スルモノ一アルノミ即チ

一、詐欺破産ヲ爲シタル者ハ有期懲役ニ處ス(明治二十三年法律第百一號)

詐欺破産トハ破産宣告ヲ受ケタル債務者ガ支拂停止又ハ破産宣告ノ前後ヲ問ハズ履行スル意ナキ義務又ハ履行スル能ハザルコトヲ知リタル義務ヲ負擔シタルトキ又ハ債權者ニ損害ヲ被ラシムル意思ヲ以テ貸方財産ノ全部若クハ一分ヲ藏匿シ若クハ脱漏シ又ハ借方現額ヲ過度ニ掲ケ又ハ商業帳簿ヲ毀滅シ藏匿シ若クハ偽造、變造シタル場合ヲ云フ(破産法第千五十條)

二、過怠破産ヲナシタル者ハ二月以上四年以下ノ懲役ニ處ス(明治二十三年法律第百

一號)

過怠破産トハ破産宣告ヲ受ケタル債務者ガ支拂停止又ハ破産宣告ノ前後ヲ問ハズ左ニ掲グル行爲ヲ爲シタル者ヲ云フ(破産法千五十一條)

第一、一身又ハ一家ノ過分ナル費用、博奕、空取引又ハ不相應ノ射利ニ因リテ貸方財産ヲ甚シク減少シ若クハ過分ノ債務ヲ負ヒタルトキ

第二、支拂停止ヲ延バサンガ爲メ損失ヲ生ズル取引ヲ爲シテ支拂資料ヲ調ヘタルトキ

第三、支拂停止ヲ爲シタル後支拂又ハ擔保ヲ爲シテ或ル債權者ニ利ヲ與ヘ財團ニ損害ヲ加ヘタルトキ

第四、商業帳簿ヲ秩序ナク記載シ藏匿シ毀滅シ又ハ全ク記載セザルトキ

第五、財産目錄、貸借對照表ノ作成若クハ支拂停止届出ノ義務ヲ怠リタルトキ又ハ裁判所ノ許可ヲ得ズシテ其住地ヲ離レタルトキ

以上ノ罰則ハ會社ノ業務ノ任アル社員若クハ取締役及清算人ニモ之レヲ適用シ詐欺破産ノ罰則ハ破産管財人及犯罪幫助者ニモ亦之レヲ適用ス(破産法第百五十二條)

三、左ノ場合ニハ二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス(同法百五十三條)

債權者集會ニ於ケル議決ニ關シ債權者ニ賄賂ヲ爲シタルトキ

贈賄罪ハ其双方ヲ處罰スルヲ以テ原則トス

四、左ノ場合ニハ四十圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス(舊商法施行法第四十五條)

一、破産管財人正當ノ理由ナクシテ之レヲ辭スルトキ(舊商法施行法第三十六條)

二、名簿中ノ破産管財人ガ裁判所ノ選定ヲ正當ノ理由ナクシテ之レヲ辭スルトキ

(舊商法施行法第三十八條)

## 第六編 民事訴訟法

### 第一章 民事訴訟法上ノ罰則

民事訴訟法中ノ罰則左ノ如シ

一、左ノ場合ニハ二十圓以下ノ罰金ニ處セラルベシ(二百九十四條)

合式ニ呼出サレタル證人ニシテ正當ノ理由ナク出頭セザルトキ此場合ニハ不參ニ依

リ生ジタル費用ニ付テモ賠償ヲ言渡スベシ

證人が再度ノ呼出ニ應ゼザルトキ亦同シ

鑑定ヲ爲ス義務アル鑑定人出頭セズ又鑑定ヲ拒ミタルトキ(三百二十八條三百三十

三條)

二、左ノ場合ニハ四十圓以下ノ罰金ニ處セラルベシ(三百二條)

原因ヲ開示セズシテ證言ヲ拒ミ又ハ開示シタル原因ノ棄却確定シタル後ニ之ヲ拒ミ

タルトキ、此場合ニ於ケル費用賠償前項ニ同シ

三、左ノ場合ニハ五十圓以下ノ過料ニ處セルベシ(二百五十五條)

公正證書ノ偽造又ハ變造ナルコトヲ眞實ニ反キテ主張シタル原告又ハ被告ニシテ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキ

四、左ノ場合ニハ二十圓以下ノ過料ニ處セルルベシ(同條二項)

私署證書ノ眞正ナルコトヲ眞實ニ反キテ爭ヒタル原告若クハ被告ニシテ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキ

## 第七編 刑事訴訟法

### 第一章 刑事訴訟法上ノ罰則

刑事訴訟法上ノ罰則左ノ如シ

一、左ノ場合ニハ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處セルルベシ(百十八條)

正當ノ理由ナクシテ證人呼出ニ應ゼザルトキ此場合ニハ不參ニ依リ生ジタル費用ノ賠償ヲモ言渡サルベシ

若シ再度ノ呼出ニ應ゼザルトキハ費用賠償ノ外二倍ノ罰金ヲ言渡サルベシ

鑑定人ノ呼出ニ應ゼザル場合亦同シ(百三十六條)

一、左ノ場合ニハ四十圓以下ノ罰金又ハ科料ニセラルベシ

一、證人宣誓ヲ肯ゼズ又ハ宣誓シテ供述ヲ肯ゼザルトキ(百二十六條)

二、鑑定人宣誓ヲ肯ゼズ又ハ宣誓シテ鑑定ヲ肯ゼザルトキ(百三十八條)

## 第八編 府縣制郡制及市制町村制

### 第一章 府 縣 制

府縣會議員ノ選舉ニハ衆議院議員選舉法ニ關スル罰則ヲ準用ス(三十八條)

### 第二章 郡 制

郡會議員ノ選舉ニハ市町村會議員選舉ニ關スル罰則ヲ適用ス(三十八條)

### 第三章 市町村會議員選舉罰則

(二十三年法律第三十九號)

市町村會議員選舉ニ關スル罰則左ノ如シ

一、左ノ場合ニハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

凡テ選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シテ選舉人名簿ニ記載セラレタル者(一條一項)

第十四條第十五條(次項五六號參照)ノ目的ヲ以テ張札ノ類ヲ公然揭示シタル者(十六條)

二、左ノ場合ニハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

一、議員タルコトヲ得サルノ實ヲ告ケスシテ議員トナリタル者(一條二項)

二、投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲ニ投票ヲナスコトヲ妨止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品手形若クハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル者及授與又ハ約束ヲ受ケタル者(第二條)

三、前號(二)ニ記シタル目的ヲ以テ選舉會場ノ近傍若クハ往來ノ途中ニ於テ選舉人ニ酒食ヲ供シ又ハ選舉會場ニ往復スル爲メ車馬ノ類ヲ供給シタル者及其供給ヲ受ケタル者(第三條)

四、第二號(第二條)ノ目的ヲ以テ選舉人ノ爲メニ選舉會場ニ往復スル車馬賃又ハ路費若クハ宿泊料ノ類ヲ代辦シ又ハ代辦スルコトヲ約束シタル者及其代辦又ハ約束

ヲ受ケタル者(第四條)

以上二乃至三號ノ罪ハ刑法賄賂收賄罪ヲ以テ論スヘキモノトス(第五條)

五、被選舉人タルヲ得ル者ヲ指シテ被選人タルコトヲ得ス又ハ當選ヲ承諾スルノ意ナシトノ虚報ヲ流傳セシメタル者(第十四條)

六、戎器又ハ兇器ヲ携帯シテ選舉場ニ入りタル者(第十五條)

七、他人ノ姓名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シ又ハ選舉人タルコトヲ得スシテ投票ヲ爲シタル者(十七條)

三、左ノ場合ニハ十五日以上三月以下ノ禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

一、第二條(二號)ニ記載シタル目的ヲ以テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘタル者(六條)

二、同上ノ目的ヲ以テ選舉人ヲ脅迫シ拐引シ若クハ其往來ノ便ヲ妨ケ若クハ詐欺ノ手段ヲ以テ其選舉權ノ施行ヲ妨害シタル者(七條)

四、左ノ場合ニハ二月以上二年以下ノ禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

一、第六條第七號(前項一、二號參照)ノ所業ヲ爲シ第二條(二項二號參照)ノ目的ヲ達シタル者(八條)

二、選舉人ヲ脅迫シ若クハ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留破壊若クハ切奪スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者(第九條一項)此場合ニ犯罪者兇器戎器ヲ携帯スルトキハ刑ヲ加重セラル(十二條)

五、左ノ場合ニハ十五日以上二月以下ノ禁錮又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ犯罪者兇器戎器ヲ携帯シタルトキハ加重セラル(十二條)

一、第九條一項(前項二號)ノ情ヲ知リテ嘯聚ニ應シタル者(九條二項)

六、左ノ場合ニハ三月以上三年以下ノ禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加セラル、但犯罪者兇器戎器ヲ携帯シタルトキハ刑ヲ加重セラル(十二條)

一、選舉ノ際選舉ニ關スル吏員若クハ選舉掛ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ選舉會場



ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留破壊若クハ切奪シタル者(十條)

七、左ノ場合ニハ二年以上五年以下ノ禁錮ニ處シ三十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加

ス、但シ犯人兇器類携帯ノ場合ハ刑ヲ加重セラル(十二條)

多衆ヲ嘯集シテ第十條(前項)ノ罪ヲ犯シタル者(十條一項)

八、左ノ場合ハ十五日以上六月以下ノ禁錮又ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス、但

シ犯人兇器類携帯ノ場合ニハ刑ヲ加重セラル(十二條)

前項(第十條第十一條)ノ情ヲ知リ嘯集ニ應シタル者(十一條二項)

九、左ノ場合ニハ十五日以上二月以下ノ禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加

ス

選舉會場所在ノ郡市ニ於テ選舉ノ氣勢ヲ張ル爲多衆集合シ若クハ隊伍ヲ組ミ往來シ

又ハ篝火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用キル所業

ヲ爲シ警察官ノ制止ヲ受クルモ仍其命ニ從ハサル者(十三條)

罰則以上ノ如シ尙罰則ノ結果當選人ノ當選無效トナルヘキ場合(二條乃至十六條ノ刑ニ處セラレタル場合)アリ

本法ニ規定シタルモノ、外刑法ニ正條アルモノハ其條ニ依リ重キニ從テ處斷ス本法ノ犯罪ハ六ヶ月ヲ以テ消滅ス

### 第四章 民政調査ニ關スル罰則ノ件

(明治四十一年八月十一日內務省第十五號)

民政調査ニ關スル罰則左ノ如シ

一、左ノ場合ニハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

市(北海道區制及沖繩縣區制ニ依ル區ヲ含ム)町村ニ於テ條例ヲ定メ民勢ノ調査ヲ爲スニ當リ故意ニ申告ヲ拒ミ若クハ虚偽ノ申告ヲナシ又ハ調査ヲ忌避シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス、虚説造言ヲ放チ偽計威力ヲ用ヒテ調査ヲ妨害シタル者亦同

シ

之レ本規則ノ全文ナリ別ニ説明ヲ要スルコトナク灼然タルモノアラン

### 第五章 市 制

(四十四年法律六八號)

- 一、市吏員ノ服務規律賠償ノ責任身元保證及事務引繼ニ關スル規定ノ命令ニ違反スルモノハ二十五月以下ノ過料ニ處ス(三七十一條)

### 第六章 町 村 制

(四十四年法律六九號)

- 二、町村吏員ノ服務規律賠償ノ責任身元保證及事務引繼ニ關スル規定ノ命令ニ違反スルモノハ二十五圓以下ノ過料ニ處ス(百五十一條)

## 第九編 土地、河川、森林、鑛業法規

### 第一章 土地收用法 (三三年法律二九號)

土地收用法上ノ罰則左ノ如シ

- 一、一年以下ノ懲役ニ處シ四十圓以下ノ罰金ヲ附加セラルヘキ者  
收用審査會員人ノ囑記ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又ハ聽許シタル者及賄賂ヲ贈與シ又ハ贈與スルコトヲ約シタル者(七十五條)
- 二、五十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘキ者  
測量又ハ檢査ノ爲メ必要アル場合ニ行政廳ノ許可ヲ得スシテ障害物ヲ除却シタル者(七十六條)
- 三、三十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘキモノ  
規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得スシテ土地ニ立入りタル者

四、四十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘキ者

故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキ(七十八條)

五、一年以下ノ懲役ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加セラルヘキ者

鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者詐僞ノ陳述ヲ爲シタルトキ及賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ詐僞ノ鑑定ヲナサシメタル者(七十九條)

六、二十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘキモノ

鑑定人又ハ法律ノ規定(四十三條二項五十九條)ニ依リ呼出ヲ受ケタル者故ナク出頭セサルトキ(八十條)

土地收用法ニ依ル罰則以上ノ如シ、別ニ詳細ノ解説ヲ與フヘキモノナケレハ 其列記ニ止ムルコトトナシヌ

第二章 河 法 川 (二九年法律七一號)

河川法中監督及強制手續ニ關シ左ノ罰則アリ

一、左ノ場合ニ於テハ千圓以下ニ於テ指定シタル過料ニ處スヘキコトヲ豫告シテ其履行ヲ命スルコトヲ得(五十三條)

私人ニ於テ此法律若クハ此法律ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務ヲ怠ルトキハ主務大臣若クハ地方長官一定ノ期限ヲ示シ若期限内ニ履行セサルトキ若ハ之ヲ履行スルモ不充分ナルトキ

二、河川法ニ付テハ二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮刑ニ處セラルヘキコトアリ

河川法ノ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ二百圓以内ノ罰金又ハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得ヘキカ故ニ若シ命令ヲ以テ之レヲ規定シタルトキ

ハ所罰セラル、コトアルヘシ

二六〇

### 第一節 河川法第四十七條ニル命令

(明治三十三年勅令第三百號)

- 一、左ノ場合ニハ五十圓以下ノ罰金又ハ三月以下ノ懲役ニ處ス(十條)
- イ、左ノ行爲ヲナス者府縣知事ノ許可ヲ受ケサルトキ
- 一、河川附近ノ土地ニ於ケル家屋以外ノ工作物ノ新築、改築又ハ除却
- 二、河川附近ノ土地ノ堀鑿其ノ他土地ノ形狀ノ變更
- 三、堤外地ニ於ケル家屋ノ新築、改築若クハ除却又ハ竹木ノ栽植若ハ代採
- ロ、沿堤土地ノ所有者ハ堤坊ヨリ雨水ノ自然ニ流レ來ルヲ妨ケ又ハ其ノ土地ノ水ヲ堤坊ニ注流セシムル設備ヲ爲スコトヲ得ス

### 第二節 河川法第四十八條ニ依レル罰則

(明治三十三年勅令第四百十八號)

- 一、左ノ場合ニハ二百圓以下ノ罰金又ハ一年以下ノ懲役ニ處セラレヘシ(一條)許可ヲ受ケスシテ河川法第十七條(流水ヲ停滯セシメ若ハ引用シ又ハ流水ノ害ヲ豫防スル爲メニ施設スル作物、河川ニ注入スル爲メニ施設スル工作物河川ノ區域内ニ於テ敷地ニ固着シテ施設スル工作物又ハ河川ニ沿ヒ若ハ河川ヲ横過シ又ハ床下ニ於テ施設スル工作物)ニ記載スル事ヲ施行シ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ其許可ヲ受ケタル者
- 二、左ノ各號ノ一ニ該ル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ三ヶ月以下ノ懲役ニ處分ス(第二條)
- 一、許可ヲ受ケスシテ河川ノ敷地又ハ流水ヲ占用シ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ其ノ許可

第二節河川法第四十八條ニ依レル罰則

二六一

ヲ受ケタル者

- 二、河川法第二十三條ノ場合（洪水ノ危険切迫ナルトキ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ノナス除害又ハ豫防工事）ニ於テ正當ノ事由ナクシテ地方行政廳又ハ委任ヲ受ケタル官吏ノ命ニ從ハサル者
- 三、許可ヲ受ケスシテ舟筏ヨリ通航料ヲ徵收シ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ其ノ許可ヲ受ケタル者

### 第三章 砂 防 法 （三十年法律二九號）

砂防法中警察、監督及強制手續ノ結果ニ依ル罰則左ノ如シ

- 一、左ノ場合ニハ五百圓以下ニ於テ指定シタル過料ニ處スルコトヲ豫告シテ其履行ヲ命スルコトヲ得（二十六條）

砂防法若クハ此法律ニ基キテ發スル命令ニ依ル義務ヲ怠ルトキハ主務大臣又ハ地方

行政廳ハ一定ノ期限ヲ示シ若シ期限内ニ履行セサルトキ若クハ履行スルモ不充分ナルトキ

- 二、左ノ場合ニ於テハ二百圓以内ノ罰金若クハ一年以下ノ禁錮ニ處セラルヘシ（四十一條）

砂防法ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ以上ノ罰則ヲ設クルコトヲ得ヘシ、若シ其制ヲ設ケタルトキハ強制手續ノ結果トシテ敍上ノ罰則ニ處セラルヘシ

### 第四節 水利組合法

水利組合法中ノ罰則左ノ如シ

- 一、組合會議員選舉罰則（十八條五項）  
組合會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用セラルヘキ規定ナレハ、就テ看ルヘシ

### 第五章 森林法

森林法ノ罰則左ノ如シ

一、左ノ場合ニハ三年以下ノ懲役又ハ贖額二倍以下ノ罰金ニ處ス

森林ニ於テ其產物ヲ竊取シタル者ハ森林竊盜トシ、以上ノ刑ヲ科ス其ノ產物ニシテ人工ヲ加タル者亦同シ(八十三條)本項ノ未遂ハ之レヲ罰ス(九十條)森林竊盜ノ定義ハ此條項ニ依リ灼然タリ

二、森林竊盜ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二月以上三年以下ノ懲役及ビ贖額二倍以下ノ罰金ニ處ス(八十四條)

一、根株ヲ掘採、毀壞、燒燬若クハ隱蔽シ其ノ他罪跡ノ煙滅ヲ圖ルノ行爲アリタルトキ

二、贖物ヲ原料トシテ木炭、樟腦、推茸、松根油其他ノ物品ヲ製シタルトキ

三、贖物ヲ燃料トシテ鑛物ノ採取、精煉若ハ石炭、煉瓦石、瓦其他ノ物品ノ製造ニ使用シタルトキ

四、贖物ヲ運搬スル爲メ牛、馬、船舶、車輛若クハ橋ヲ使用シ又ハ運搬、造材ノ設備ヲナシタルトキ

五、保安林ニ於テ犯シタルトキ

六、森林產物採取ノ權利ヲ行使スルニ際シ犯シタルトキ

七、二人以上共同シ又ハ他人ヲ雇使シテ犯シタルトキ

八、森林保護ノ義務ヲ有スル者犯シタルトキ

九、差押ノ贖物ヲ隱匿、消費、滅却又ハ放棄シタルトキ

十、夜間犯シタルトキ

注意、右ノ内第二號ニ依リ製シタルモノハ贖物ト看做ス(八十五)

民法百九十六條ノ規定ハ森林竊盜ノ贖物回復ニ之ヲ適用セス但シ善意ノ取得

者ニ付テハ此限ニアラズ(八十六條)以上ノ未遂ハ之レヲ罰ス(九十條)

三、左ノ場合ニハ一月以上三年以下ノ懲役及贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス(八十七條)

森林竊盜ノ贓物ナルコトヲ知リテ之ヲ受ケ又ハ寄藏故賣シ若ハ牙保ヲ爲シタルモノ  
注意 以上ノ犯罪ニ罰金ヲ科スル場合ニ於テ贓額ノ額カ二圓ニ滿タザル場合ト雖其  
罰金ハ二圓以下ニ下ルコトヲ得ズ(八十八條)

四、森林放火罪ノ處分左ノ如シ(八十九條)

他人ノ森林ニ放火シタル者及因テ主產物ヲ燒燬シタル者ハ有期懲役ニ處ス(八十九條一項)

自己ノ森林ニ放火シタル者ハ二月以上二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
因テ他人ノ森林ノ主產物ヲ燒燬シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス(八十九條二項)本  
項ノ未遂ハ之レヲ罰ス(九十條)

五、標識移轉、同汚損毀壞罪ノ處分左ノ如シ(九十一條)

森林ノ爲メ設ケタル標識ヲ移轉、汚損、又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處  
ス

六、記號、印章ノ變更消除罪

立木竹、木材又ハ根株ニ附シタル他人ノ記號印章ヲ變更又ハ消除シタル者ハ二十圓  
以下ノ罰金ニ處ス(九十二條)

七、工作物設置罪及他人ノ森林開墾罪

他人ノ森林内ニ工作物ヲ設ケタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ森林ヲ開墾シ  
タル者亦同シ(九十三條一項)  
前項ノ罪ニシテ保安林、開墾禁止ノ森林ニ係ハルトキハ六月以下ノ懲役又ハ二百圓  
以下ノ罰金ニ處ス(九十三條)

八、放牧罪

他人ノ森林ニ放牧シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス(九十四條)

九、制限及禁止違反

第十三條ノ制限(公有林、社寺有林又ハ私有林ニ付キ地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ箇所及期間ヲ指定シ土石又ハ産物ノ採取若ハ採掘ニ關スル制限又ハ禁止ヲナスコトヲ得)又ハ禁止ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス(九十五條)

十、採取採掘及伐採停止違反

第二十條(保安林編入ニ關スルモノナルトキ告示期間中許可ナクシテ凡テノ物ノ採取採掘ヲ禁ズ)ニ違反シ又ハ第二十五條一項(必要ナル場合ニ地方長官ヨリ發スル伐採停止)ノ停止ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(九十六條)

十一、保安林保護違反、國土保安必要上ノ制限又ハ禁止違反

第二十六條(保安林ニ於テ無許可伐採採取採掘ヲ爲シタル者)ニ違反シ三十二條ノ制限又ハ禁止(國土保安上主務大臣ヨリ發スル開墾ノ制限禁止)ニ違反シタル者ハ二百

圓以下ノ罰金ニ處ス

十二、保安林保護違反(所有者ニ對スルモノ)

第二十七條ノ制限、禁止又ハ指定ニ(保安林ノ使用收益制限又ハ禁止施業又ハ保護方法指定)違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

注意 前三項(十、十一、十二)ノ場合ニ於テ木竹ヲ伐採又ハ傷害シタル者ニ對スル罰金ハ其ノ伐採又ハ傷害シタル木竹ノ價格ノ二倍ニ達セシムルコトヲ得ス(九十九條)

十三、印章、記號、調製命令又ハ處分違反

七十六條第二號三號(森林用物ニ使用スル記號印章類似物使用禁止及産物運搬停止)ニ仍ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス(百條)

十四、検査拒絶

第七十七條(官吏公吏職務上必要事項検査)ノ検査ヲ拒ミタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス(百一條)



十五、入火違反

第七十八條七十九條（森林又ハ之レニ接近シタル土地ニ火入レヲナスニハ許可ヲ受ヘク又防火設備ヲナシテ届出ヘシ）ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ヲ燒燬シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ森林内ニ於テ焚火ヲナシタル者亦同シ

十六、拘留又ハ科料ニ處セラルヘキ者（百二條）

森林法ニ依リテ拘留又ハ科料ニ處セラル者左ノ如シ

- 一、森林產物ニ使用スル記號又ハ印章ヲ定メ所轄警察署ニ届出テサルモノ及森林產物ノ搬出前之ヲ使用セサリシモノ
- 二、森林產物營業者ニシテ帳簿ヲ設ケ適當ノ記載ヲナサザル者
- 三、森林ノ危險防止ノ命令ニ反スルモノ
- 四、虫害豫防命令ニ違反スルモノ

第六章 社寺保管林規則

（三十二年敕令第三百六號十一號）

左ノ場合ニハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラル（第十條）

社寺ノ管理者許可ヲ得スシテ保管林地ヲ使用シタルトキ及ビ社寺ノ管理者保管林ヲ他人ニ貸付シ又ハ使用セシメサルトキ

第七章 鑛業法

（三八年法律三五號）

鑛業法上ノ罰則左ノ如シ

一、不法探堀及不正鑛業權取得

鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者又ハ詐偽ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス（九十四條一項）

第六章 社寺保管林規則  
第七章 鑛業法

過失ニ依リ鑛區外ニ侵掘シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(同二項)  
以上ノ場合ニハ其掘採鑛物ヲ沒收ス既ニ之ヲ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其代金ヲ  
追懲ス(九十五條)

二、特定ノ場所ニ對シ官廳ノ許可又ハ所有者ノ承諾ヲ得スシテ鑛業地トシテ使用シタ  
ル者

鑛區トナスヘカラサル重要地ヲ(十條三項)所屬官廳ノ許可ヲ受ケスシテ鑛業ノ爲メ  
使用シタル者又ハ所屬官廳ノ許可又ハ所有者ノ承諾ナクシテ(十一條)鑛業ヲナシ又  
ハ鑛業用ニ使用シタル場合及危險豫防、鑛業停止(七十二條、七十四條一項)ノ命令  
ニ從ハサル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス(九十六條)

三、左ノ場合ニ於テハ百五十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ(九十七條)

- 一、施業案ニ關スル鑛山監督署長ノ命令ニ違反スルトキ(四十五條)
- 二、許可ナクシテ施業接ヲ變更シタル者(四十五條二項)

三、技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改任ノ命ニ從ハサルモノ(七十三條一項)

四、勞役規則ニ對スル制限ニ違反スルモノ(七十九條)

五、救恤規則ニ違反スルモノ(八十條)

四、左ノ場合ニハ百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ(九十八條)

一、坑内實測圖及鑛業簿ヲ備置カス又其複本ヲ差出サバル者(四十六條)

二、鑛業明細表ヲ差出サバル者(四十七條)

五、左ノ場合ニハ五十圓以下ノ罰金ニ處セラル(九十九條)

- 一、測量又ハ検査ノ場合ニ許可ナクシテ他人ノ土地ノ障害物ヲ除却シタル者(五十  
三條一項)

二、鑛夫ノ雇傭勞役規則ヲ定メ之レカ許可ヲ受ケサル者(七十五條)

三、當該官吏ニ對シテ鑛業ニ關スル書類又ハ物件ノ検査ヲ拒ミ又ハ之レヲ妨ケタル  
者 但シ刑法ニ正條アル者ハ刑法ニ仍ル(九十九條二項)

六、左ノ場合ニハ二十圓以下ノ罰金ニ處セラレ(百條)

解雇ノ鑛夫ヨリ請求アリタル場合ニ證明書ノ交附ヲナササルトキ(七十七條)

七、脱税ノ處分(百一條)

詐欺又ハ不正ノ所爲ヲ以テ鑛業税ヲ免レ又ハ免レントシタル者ハ脱税金額ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

鑛業法罰則中ノ特殊事項左ノ如シ

一、本法又ハ本法ニ基キテ發スル規定ニ違背シタル者ニハ刑法ノ減刑、再犯加重及數罪俱發(併合罪)ノ例ヲ用ヒス(百二條)

二、鑛業權者カ未成年者又ハ禁治産ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キ發スル命令ノ規定ニ仍リ鑛業權者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ鑛業ノ規定ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此限ニアラス(百三條)

三、鑛業權者ハ其代理人戶主、家族、同居者雇人其他ノ從業者ニシテ其業務ニ關シ本法

ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス本法ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其命令ニ規定セル罰則ニ付テモ亦同シ(百四條)

四、前二條ノ場合ニ於テ禁錮又ハ拘留ノ刑ニ處スルコトヲ得ス(百五條)

鑛業法施行細則ノ罰則左ノ如シ(適用範圍鑛業法ニ同シ)

一、本法ニ依リ立會又ハ調査事項ノ説明ヲナサ、ル者、鑛業權ノ表示變更命令ニ應ゼサル者、扶助規則ヲ差出サ、ルモノ又ハ同規則ノ改定命令ニ應ゼサル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス(七十二條)

### 第八章 鑛業警察規則

鑛業警察規則ノ罰則左ノ如シ

一、鑛業規則ニ依ル罰則ハ二十五圓以下ノ罰金刑ナリ(三十六條)

處分セラルルモノ左ノ如シ

一、本則ノ規定ニ違背シタル者又ハ本則ノ規定ニ依リ發シタル命令ニ從ハサル者  
注意 此規則ニ仍リ従業者ヲ罰スヘキ場合ニハ直接ノ監督者ヲ同一ニ罰ス但シ監督上

相當ノ注意ヲ用ヒタルコトヲ證明シタルトキハ此限ニアラス(三十七條)

此規則ニ依リ技術ニ關スル管理者ヲ置キタル場合ニハ本則ノ規定ニ依リ採掘權者、  
法定代理人又ハ法人ニ適用スヘキ罰則ハ之レヲ技術ニ關スル管理者ニ適用ス但シ其  
權限ニ屬セサル事項ニ付テハ此限ニアラス(二十八條)

### 第九章 鑛業抵當法

鑛業抵當法中、鑛業財團ニ關スル罰則ニ付テハ工場財團ノ罰則ヲ準用セラルヘキニ付

キ同規則參照ノ事(十一項)

### 第十章 砂 鑛 法

(四二年法律第十三號)

一、無權利營業又ハ詐欺ニ依リ許可ヲ得タル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(十九條)

二、鑛業上ノ命令違反者ハ百圓以下ノ罰金ニ處セラル(二十條鑛業法十三條三項七十  
二條)

三、許可又ハ制規ノ手續ヲ經スシテ他人ノ土地ヲ測量シ、立入り若クハ虚偽ノ申立ヲ  
ナシ、職務執行妨害ヲナシタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

# 第十編 農商工法規

## 第一章 耕地整理法

(明治四二年法律三〇號四三年四月改正)

本則ニ於ケル罰則左ノ如シ

一、標石又ハ標杭移轉毀壞犯

整理施行ノ爲メ設ケタル標石又ハ標杭ヲ移轉シ又ハ毀壞シタル場合ニ於テ刑法ニ該當セサル者ハ五圓以下ノ罰金ニ處ス(九十條)

二、命令違反(九十一條)

第三條ニ依ル整理施行者組合長等ガ命令ニ違反スルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

## 第二章 肥料取締法

一、左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處シ其肥料及原料ハ之ヲ沒收ス

(九條)

一、詐欺ノ行爲ヲ以テ免許ヲ受ケタル者

二、肥料ヲ偽造シ又ハ人ヲ欺罔スルノ目的ヲ以テ肥料ニ他物ヲ混和シタル營業者

三、偽造シ又ハ人ヲ欺罔スル目的ヲ以テ他物ヲ混和シタル肥料ヲ輸入移入又ハ授受シタル營業者

シタル營業者

四、肥料ニ虚偽ノ保證票ヲ添付シタル營業者又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ他ノ肥料ニ使用シタル營業者

五、虚偽ノ保證票ヲ添付シタル肥料又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ使用シタル肥料ヲ輸入移入又ハ授受シタル營業者

器ヲ使用シタル肥料ヲ輸入移入又ハ授受シタル營業者

二、左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第一號乃至第四號ノ

場合ニ於テ其ノ肥料及原料ヲ沒收ス(十條)

- 一、免許ヲ受ケスシテ肥料營業ヲ爲シタル者
- 二、肥料法ニ基キ發スル命令ニ違反シタル者
- 三、免許又ハ認可ヲ受ケサル製造方法ニ依リ肥料ヲ製造シタル營業者
- 四、免許又ハ認可ヲ受ケサル肥料ヲ製造輸入、移入又ハ賣買シタル營業者
- 五、認可ヲ受ケスシテ製造場ノ位置又ハ製造若ハ藏置ニ關スル設備ヲ變更シタル營業者

三、左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(十一條)

一、營業者カ肥料ニ保證票ヲ添付セサルトキ

二、營業者カ臨檢、檢査、等(第五條)ノ處分ヲ拒ミルトタキ

注意 肥料營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其他ノ從業者ニシテ其業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カル、コトヲ得ス(十三條)

四 肥料取締法施行細則ニ依ル罰則左ノ如シ

同規則ニ違反シタル者及肥料ノ効能ヲ誇稱シテ虛偽ノ廣告ヲ爲シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラルヘシ

### 第二章 蟲害驅除豫防法

一、左ノ場合ニハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料又ハ一日以上十月以下ノ拘留ニ處ス(十條)

蟲害驅除ニ關シ地方長官ノ命令ニ從ハサル者(第二條參照)

二、貳圓以上二十圓以下ノ罰金又ハ十一日以上二十日以下ノ懲役ニ處セラルヘキモノ  
 地方長官カ害蟲驅除又ハ豫防行爲ニ關シ爲スヘキ手段ヲ妨害シタル者(六條參照)  
 害蟲驅除ニ關係アル官吏又ハ其指揮ヲ受ケタル者ノ蟲害驅除又ハ豫防行爲ヲ妨害シタルモノ(八條參照)

本章ノ犯罪ハ刑法ノ所謂公務妨害罪ト同性質ノモノナレトモ公益被害程度ニ於テ刑法上ノ如クナラス從テ罰則ヲ異ニセリ

### 第四章 蠶病豫防法

一、左ノ場合ニハ三百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ  
本法施行セラレサル地又ハ外國製造蠶種ヲ無許可移入又ハ輸入シタル者(二十一條)  
此場合ニハ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒及繭ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シタルトキハ其代金ヲ追徴ス

二、當該吏員本法施行ニ關シ不正ノ所爲アルトキハ一年以下ノ懲役ニ處シ四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル(二十二條)

三、左ノ場合ニハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(二十三條)

(一)、本法ニ依ル必要ナル設備ヲナサ、ルトキ (二)消毒ヲ行ハサル者 (三)不正

蠶種製造ヲナシタル者 (四)蠶種用及製絲用蠶兒ヲ同一時期ニ飼育シタル者

(五)當該吏員ノ違法検査ヲ爲シタル場合 (六)本條又ハ本條ニ基キ發スル命令ニ

依ル當該吏員ノ指示ニ從ハス若ハ職務執行ヲ妨ケタル者

注意 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタル者ニハ刑法ノ減輕加重及

併合罪ノ例ヲ用ヒス(二十四條)

未成年者又ハ禁治産者カ營業人ナル場合ニハ法定代理人ニ罰則ヲ適用ス但シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スルモノニ付テハ此限ニアラス(二十五條)此場合ニ於テ法定代理人ニ對シ禁錮懲役又ハ拘留ニ處スルコトヲ得ス

蠶病豫防法施行細則ノ罰則左ノ如シ

一、左ノ規定ニ違反シタルモノハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス(四十八條)

第二條(生糸製造、生繭賣買、殺蛹乾繭業者ノ届出)第十三條(蠶卵臺紙再用不可)第二

十三條(蠶種製造業者ノ掃殺及繭取締)第二十四條(同蠶兒、繭、蠶卵取締)第四條二

項(不越年蠶種ニ關スル規定)第二十八條(臺紙ニ關スル取締規定)

### 第五章 産業組合法

(三十三年法律第三十四號)

一、組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上三百圓以下ノ過料ニ處セラルヘシ(第七十六條)

一、本法ニ定メタル登記ヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二、官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲナシ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三、二十九條第一項(定款及總會決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備置クヘキ規定)三十條一項(財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案提出並ニ主タル事務所ニ備付ケ義務)ノ規定ニ違背シ又ハ之レ等ノ書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲナシタルトキ若ハ正當ノ理由ナクシ

テ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

四、第四十條(出資金額減少ノ際財産目録及貸借對照表製作義務)第四十一條(出資減少異議ニ關スル件)第四十三條(拂込未済中配當金處分)第四十四條(損失填補前剩餘金ノ處分)第四十五條(持分拂戻ノ件)第四十六條(每事業年度積立金ノ件)第七十二條(清算人ノ財産分配規定)ニ違背シタルトキ

五、第六十條(監督官廳ヨリ命スル報告要求)ノ報告ヲナサス又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

六、民法第七十九條ノ期間内(二ヶ月)ニ債權者ニ辨償ヲナシタルトキ

七、民法七十九條又ハ八十一條ニ定メタル公告(債權申立公告及破産請求セシ者ノ公告ヲナスコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲナシタルトキ

八、民法七十條又ハ八十一條ノ規定(法人ノ財産カ債務ヲ完済スルニ不足ナルニ至リタル場合ニ於ケル破産請求ノ義務)ニ違背シタルトキ



### 第六章 重要物産同業組合法

(三十三年法律第三十五號)

一、左ノ場合ニハ二圓以上百圓以下ノ過料ニ處セラルヘシ(第十九條)

第四條第十三條(組合加入義務、及臨檢拒妨行爲)ノ規定ニ違反シタルモノ

### 第七章 茶業組合規則

(明治二十年農商務省令第四號)

一、左ノ條項ニ違反シタルモノハ二圓以上二十 五圓下ノ罰金ニ處ス(四十條)

一、第二條(組合加入義務)第九條(認可ヲ受クヘキ規定)第十一條(規約遵守費用負擔義務)ニ違反シタル者

### 第八章 産牛馬組合法

(明治三十三年法律二〇)

産牛馬組合上ノ罰則ニ付テハ重要輕出品同業組合法ノ規定ヲ準用ス

### 第九章 蓄 産

#### 第一節 種牡牛検査法

(明治四十年法律第四十二號)

一、左ノ場合ニハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

検査ニ合格セサル牡牛又ハ證明ノ効力ヲ失ヒ若ハ停止セラレタル種牡牛ヲ種付ニ使用シタル者(第七條)

二、同法施行細則ニ依リ左ノ場合ニハ科料ニ處セラル

一、證明書返納ノ場合ニ返納セサルモノ(六條)

二、牝牛所有者又ハ管理者ヨリ證明書閱覽要求ヲ拒ミタルモノ(七條二項)

- 三、種牛移動變更届ヲナサ、ルモノ(八條)
- 四、種付帳簿調製及記載義務違反(九條)
- 五、血統證書要求拒絶(十條)
- 六、當該官吏ノナスヘキ調査拒絶(十二條二項)

### 第二節 種牡馬検査法

(明治三十年法律十二號)

- 一、左ノ場合ニハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一、検査ニ合格セサル牡馬牛ハ證明ノ効力ヲ失ヒ又ハ停止セラレタル種牡馬ヲ、種付ニ使用シタル者(第七條)

備考 同法施行規則ノ科料ニ處セラルヘキ規定ハ前章同一ニ付略ス

### 第二節 馬匹去勢法

(三十四年法律二十二號)

- 一、牡馬ノ去勢施行ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(七條)

### 第四節 家畜市法場

(四十三年法律一號)

- 一、左ノ場合ニハ五百圓以下ノ罰金ニ處セラル(十七條)  
無許可市場開設 停止制限令違反(十六條一項)
- 二、第六條 七條一項十一條十五條一項ノ違反及九條十四條ノ取締制限違反者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處セラル
- 三、職務執行妨害 虚偽陳述者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(十九條)

### 第十章 漁業

#### 第一節 漁業法

(四十三年法律第五十八號)

- 一、漁業組合又ハ漁業組合聯合會ニ於テ本法中特ニ組合又ハ聯合會ニ關スル規定ニ違反シタル場合ニハ三百圓以下ノ罰金ニ處セラル(五十條一項)
- 二、本法ニ付キテ發スル組合又ハ聯合會ニ關スル命令ニ於テ組合會ガ違反シタル場合ニハ役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス(同條二項)
- 三、漁業權侵害ノ場合ニハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(六〇條)
- 四、無免許漁業者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス(五八條)停止中ノ者亦同シ
- 五、汽船漁業ニ關スル規定及制限禁止違反者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス(五九條)
- 六、汽船捕鯨業ニ關スル規定及制限禁止違反者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス(五八條)

- 七、標識移轉汚損毀壞者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(六一條)
- 八、職務執行妨害、虛偽陳述者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス(六二條)

#### 第二節 瀬戸内海漁業制限

(四十二年省令五六號)

- 一、漁業制限違反者ハ百圓以下ノ罰金ニ處セラル(七條)
- 二、漁獲物ノ情ヲ知リテ販賣シタル者ハ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラル(七條二項)

#### 第三節 鯨漁取締規則

- 一、無許可漁業禁止違制限違反者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(十四條九條)
- 二、許可證無保持 旗章無掲揚等ノ犯罪者ハ科料ニ處ス(十四條六條三項七等十二條)

十三條一項)

### 第四節 漁業組合規則

(明治三十五年農省務省令第八號)

漁業組合ノ罰則左ノ如シ

一、組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テ二十五圓以下ノ罰金ニ處セラレベシ(六十五條)

一、官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二、規約前年度ニ於ケル經費ノ決算書、其年度ニ於ケル經費ノ豫算書、財産目録、事業報告書、漁業免許狀、入漁登錄證、組合員名簿、總會ノ決議錄等ノ書類ヲ事務所ニ備付ケズ又ハ其書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若クハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

三、決議ニ依ラズシテ十九條ノ行爲(豫算及賦課徴收法ヲ定メ、漁業權又ハ不動産ニ關スル權利ノ處分變更、基金ノ利用又ハ支出、豫算外ノ支出又ハ負債、組合員外ノ者ニ漁業權貸付又ハ入漁契約ヲ爲シ、組合員ノ除名、訴訟行爲及和解、基金預入銀行選定)ヲナシ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ總會ノ決議ヲ經ザルトキ(五十八條)

四、六十二條ノ報告(組合ノ事業報告 清算事務ノ報告)ヲナサザルトキ、又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令若ハ處分ニ從ハザルトキ

一、組合ノ理事、監事又ハ清算人本則ニ規定シタル届出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シタルトキハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處セラル

### 第五節 外國領海水產組合法

(明治三十五年法律第三十五號)

一、左記第一ノ場合ニハ五十圓以下ノ過料ニ第二ノ場合ニハ五千圓以下ノ過料ニ處セラル(六條)

第一、組合ノ區域内ニ於テ組合員ト同一ノ營業ヲナス者組合ニ加入セザルトキ(五十圓以下ノ過料)

第二、組合設置アリタル後ハ如何ナル名儀ヲ以テスルモ同種ノ營業ノ目的ヲ以テ營業區域内ヲ渡航又ハ漁具廻送ヲナスコトヲ不得(五千圓以下過料)

### 第六節 遠洋漁業獎勵法

(明治三十八年法律第四十號)

左ノ場合ニ於テハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス(十四條)

一、詐欺ノ所爲ヲ以テ獎勵金ヲ受ケ又ハ漁船獎勵金ヲ受ケタル船舶ノ所有者及其承繼人ガ獎勵金ヲ受ケタル日ヨリ五年以内ニ之レヲ外國人ニ讓渡貸付又ハ擔保ニ

供シタルトキ

注意 以上ノ罪ノ未遂ハ之ヲ罰ス

本法ノ犯罪ハ再犯加重及併合罪等ノ刑法ノ例ヲ用ヒズ(十六條)

當業者ガ無能力ナルトキハ法定人ヲ罰ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スルトキハ此限ニアラズ(十七條)

當業者ハ其行爲ガ自分以外ノ從業者ニ基因スルノ故ヲ以テ其責ヲ免カル、ヲ得ズ(十八條)

當業者ノ責任ノミニ止マザルトキハ當業者又ハ法定代理人ニ對シ體刑ヲ科スルコトヲ得ズ(十九條)

## 第十一章 獸 獵

### 第一節 腔虎膾肭獸臘法

(明治二十八年法律第十號)

左ノ場合ニハ一月以上一年以下ノ懲役又ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一、禁獵區域内又ハ禁獵期間内獵虎臘肭獸ノ獵獲ヲナシタル者此場合ニハ獵船獵具獵獲物ヲ沒收ス(四條)

左ノ場合ニハ十一日以上一月以下ノ懲役又ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一、獵船、獵具、獵法ノ制限及牝牡年齡ニ依レル獵獲ノ禁止ニ違背シ又ハ獵船獵具及獵獲物ノ検査ニ關スル規定ニ違背シタル者(五條)

左ノ場合ニハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

一、獵獲免許ヲ受ケズシテ獵獲シタル者 此場合ニハ獵獲物ヲ沒收ス(六條)

注意 此規則ニ依リ沒收セラルベキモノヲ棄却シタルトキハ販賣者ハ其代金ヲ追懲セラルベシ(七條)

### 第十一章 狩獵法 (三十四年法律第三十三號)

左ノ場合ニハ百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

一、無免許ニテ狩獵シタル者又ハ免狀ノ有効期限外ニ於テ狩獵シタル者若クハ詐欺ノ所爲ヲ以テ狩獵免狀又ハ共同獵地ノ免許ヲ受ケ又ハ詐テ共同狩獵地ヲ表示シタル者

此場合ニ於テ犯罪ノ用ニ供シタル器具ハ之ヲ沒收ス(二十一條)

二、爆發物、劇藥、毒藥、据銃又ハ危險ナル毘若ハ陷穿ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲シタル者及ヒ御獵場、禁獵區、公道、公園、社寺境内、墓地若クハ日出前日沒後又ハ市街其他人家稠密ノ場所又ハ銃丸ノ達スヘキ家屋船舶汽車等ニ向ヒ狩獵シタル者(二十二條)  
以上ノ所罰ヲ受ケタル者ノ免狀ハ無効トナル

左ノ場合ニハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

一、柵欄圍障若クハ作物植付ケアル他人ノ所有地又ハ共同獵地ニ於テ權利者ノ承諾ナ

クシテ狩獵シタル者但シ此場合ハ權利者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

二、職權上爲ス所ノ免狀検査ヲ拒ミタルトキ

三、保護鳥ヲ捕獲又ハ賣買シタル者

四、保護鳥類ノ卵又ハ雛ヲ取り又ハ賣買シタル者

左ノ場合ニハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處セラル(二十四條)

一、出獵ノ際免狀ヲ携帯セサルモノ

二、免狀ヲ紛失シテ届出テサル者

三、免狀失効ノ日ヨリ三十日以内ニ返納セサル者

狩獵法施行規則ニ依リ左ノ場合ニハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

此規則ニ依リ設置セラレアル目標若クハ制札ヲ毀棄汚損シ又ハ保護鳥賣買ニ關シ其届出ヲ怠リタル者及保護鳥飼養ニ關スル届出ヲ怠リタル者若シクハ飼養ノ保護鳥賣買ニ關シ賣渡人ニ於テ届出ヲ怠リタルトキ

### 第十三章 商品検査及取締

#### 第一節 輸出羽二重精練業法

(三十九年法律第二十三號)

一、五十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處セラル者(六條)

許可ヲ得スシテ輸出羽二重ノ精練ヲ爲シタル者

二、百圓以下ノ罰金ニ處セラルモノ(七條)

精練ノ方法、工場ノ設備其他精練ニ關シ發シタル主務大臣ノ命令ニ違反シタルモノ

三、三十圓以下ノ罰金ニ處セラルモノ(八條)

當該官吏ノ尋問ニ對シ虚偽ノ申立ヲナシ又ハ其職務執行ヲ拒ミ、忌避シ、支障ヲ加ヘタル者 此場合ニハ刑法ノ正條アルモノニ對シテ刑法ニ依リテ處斷セラルヘシ

四、四十圓以下ノ罰金ニ處セラル者(九條)

精練業ノ承繼廢止ノ場合ニ於テ其届出ヲ怠リタル者

注意

本法ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕、累犯、併合罪ノ例ヲ用ヒス

精練業者ハ從業者ノ犯則ニ付テモ責任アリ

精練業者カ無能力者ナルトキハ法定代理人ヲ處罰ス但シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ對シテハ此限ニアラス

同法施行規則ニ依リ左ノ場合ニハ二十五圓以下ノ罰金ニ處セラル(八條)

精練業者カ法定ノ精練設備ニ變更セントスル場合ニ認可ヲ受ケサルトキ

同：十圓以下ノ罰金ニ處セラルモノ(九條)

本規則ニ依リ爲スヘキ届出ヲ怠リタル精練業者

### 第二節 輸出羽二重取締規則

(三十八年農商務省令第五號)

左ノ場合ニハ二十五圓以下ノ罰金ニ處セラル(八條)

一、精練及輸出賣買授受其ノ他ノ規定ニ違反シタル者

二、當該官吏ノ検査ヲ拒ミタルトキ

三、其他證票、帳簿ニ虚偽ノ記載ヲナシタル者

注意

營業者ハ從業者ノ犯則行爲ニ關シテモ責任アリ

營業主カ法人、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ法定代理人處斷セラル但シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セル未成年者ニ對シテハ此限ニアラス

### 第三節 花莖規則

(三十八年勅令百六十一號)

左ノ場合ニハ二百圓以下ノ罰金ニ處セラル(四條)



花菴検査所ニ於テ検査ヲ受ケサル花菴又ハ検査證ヲ除去シタル花菴ヲ輸出シタル者

### 第十四節 商業會議所議員選舉規則

(二十五年農商務省令第十五號)

左ノ各號ニ該當スルモノハ十五圓以下ノ罰金ニ處ス(二十五條)

- 一、詐欺ノ方法ヲ以テ選舉權者名簿ニ登録セラレタル者
- 二、選舉委員投票管理者又ハ立會人ニシテ正當ノ事由ナク本令ニ定メタル義務ヲ缺キタル者

左ノ場合ニハ刑法ニ規定アル場合ノ外二十五日以下ノ禁錮又ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス 但シ行爲ハ選舉ノ前後ヲ問ハサルモノトス

- 一、選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢、物品、手形其ノ他ノ利益若ハ公私ノ職務ヲ選舉權者、議員選舉人、代人、又ハ選舉運動者ニ供給シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル

者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸誘シタル者竝供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

- 二、選舉ニ關シ酒食、遊覽等其方法名儀ノ何タルヲ不問人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選舉場ニ往復スル爲メ車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ受ケタル者 竝此等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

- 三、選舉場ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉權者 議員選舉人又ハ代人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者

左ノ各號ニ該當スル者ハ刑法ニ規定アル場合ヲ除ク外二十五日以下ノ禁錮ニ處ス(三十七條)

- 一、詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者
- 二、選舉權者 議員選舉人又ハ代人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ選舉權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲナサシメタル者

三、選舉委員投票管理者、立會人其ノ他選舉事務ヲ監視シ又ハ選舉事務ニ關係アル者ニシテ選舉權者、議員選舉人又ハ代人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ニ付キ眞偽ニ拘ハラヌ之ヲ表示シタル者

四、選舉ニ關シ選舉權者 議員選舉人又ハ代人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ拐引シタル者

五、選舉委員、投票管理者、立會人其他選舉事務ヲ監視シ又ハ選舉事務ニ關係アル者ニ暴行脅迫ヲ加ヘ又ハ選舉場ヲ騷擾シ又ハ投票 投票函其ノ他關係書類ヲ抑留 毀壞 奪取シタル者

備考 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ農商務大臣ハ其當選ヲ取消スヘシ(三十八條)

### 第十五章 取引所

#### 第一節 取引所法

(二十六年法律第五號)

左ノ場合ニハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス(三十一條)

一、取引所ノ會員ニシテ自己ノ計算ヲ以テスルノ外取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲タルトキ

二、取引所ノ役員及雇人カ取引所ニ於テ賣買取引ヲナシタルトキ  
左ノ場合ニハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス(三十二條)

一、取引所外ニ於テ取引所ノ定期取引ト同一又ハ類似ノ方法ヲ以テ賣買取引ヲナシタル者

二、公定相場ヲ偽リタル者

#### 第二節 米又ハ有價證券取引市場開設方

(明治三十九年農商務省令第一號)

左ノ場合ニハ十圓以上二十五圓以下ノ罰金又ハ十一日以上二十五日以下ノ懲役ニ處ス  
一、米又ハ有價證券ヲ取引スル市場ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ許可ヲ受クルニ  
アラサレハ設立スルコトヲ得ス犯スモノハ以上ノ刑ニ處セララルヘシ

### 第三節 取引税法

(明治二十六年法律第六號)

左ノ場合ニハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處セララルヘシ(七條)

毎月約定代金高ノ届出ヲ怠リタル理事長但シ本犯ハ刑法ノ例ヲ用ヒス

## 第十六章 保險業法

(明治三十三年法律六十九號)

左ノ場合ニハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ヒラル(九十七條)

一、主務官廳ノ免許ヲ受ケスシテ保險業ヲ營ム者

左ノ場合ニ於テ保險會社ノ取締役、監査役又ハ清算人ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處  
セララル(九十八條)

一、保險事業ニ非サル事業ヲ爲シタルトキ

二、生命保險ト損害保險トヲ併セテ營ミタルトキ

三、主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキ

四、主務官廳ノ検査ヲ妨ケタルトキ

五、正當ノ理由ナクシテ本法ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ閱覽セシメス又ハ其  
謄本抄本ヲ交附セサリシトキ

六、正規ノ規定(十九條)ニ違反シテ利益ノ配當ヲナシタルトキ

七、規定(二十二條ノ)ニ反シテ合併ヲ爲シタルトキ

八、保險會社カ保險契約ノ種類ニ從ヒ各事業年度ノ終ニ於テ存スル契約ニ付キ責任準

備金ヲ計算シ且之ヲ特ニ設ケタル帳簿ニ記載セサルトキ

左ノ場合ニ於テ相互會社ノ發起人、取締役、監査役又ハ清算人ハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラル(九十九條)

- 一、規定ノ登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ
- 二、規定ノ公告若ハ通知ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告若ハ通知ヲ爲シタルトキ
- 三、規定ニ(二十條二項ノ)反シ入社申込證ヲ作ラス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲナシタルトキ
- 四、定款、社員名簿、總會ノ決議録、財産目錄、貸借對照表、事業報告書、損益計算書若クハ基金ノ償却其利息ノ支拂 準備金、剩餘金分配ニ關スル議案ヲ事務所ニ備ヘ置カス之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之レニ不正ノ記載ヲナシタルトキ
- 五、商法第百八十一條(監査役ハ何時ニテ會社ノ事務及會社財産ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得)ノ規定ニ依ル監査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ

左ノ場合ニ於テ相互會社ノ發起人、取締役、監査役又ハ清算人ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル(百條)

- 一、官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 二、規定ニ反シ(五十六條乃至六十條)基金ヲ償却シ其利息ヲ支拂ヒ又ハ剩餘金分配ヲ爲シタルトキ
- 三、規定ニ反シ(七十九條一項)會社財産ヲ處分シタルトキ
- 四、商法(七十九條乃至八十條)ノ規定ニ反シテ社員ノ責任ヲ減少シ又ハ合併ヲ爲シタルトキ
- 五、商法(百七十四條二項)民法(八十一條)ノ規定ニ反シテ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

### 第十七章 銀行

### 第一節 銀行條例

(明治二十三年法律第七十二號)

左ノ場合ニハ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラル(九條)

一、規定ニ反シ、大藏大臣ノ認可ヲ受ケズシテ銀行ノ業務ヲ營ミタルトキハ其營業主  
會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者以上ノ處罰ヲ受ク

左ノ場合ニ於テハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラル(十條一項)

一、銀行ニ於テ規定ノ報告、公告ヲ爲サズ又ハ公告中ニ詐僞ノ陳述ヲナシ又ハ事實ヲ  
隱蔽シタル、營業主其他前同上ノ者

左ノ場合ニ於テハ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラル(同條二項)

一、規定ノ検査ヲ受クルコトヲ拒ミタルトキノ營業主其他同上ノ者

### 第二節 貯蓄銀行條例

(三十三年法律第七十三)

左ノ場合ニハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處セラル(九條)

一、本條例ノ規定ニ違反シタル者蓋銀行ノ取締役

二、貯蓄銀行ニ非ズシテ貯蓄銀行ノ業ヲ營ミタル營業主、會社ノ業務擔當社員又ハ取  
締役

備考 以上ノ外銀行條例ノ規定適用

### 第二節 橫濱正金銀行條例

(明治二十年勅令第二十九號)

左ノ場合ニハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス(二十七條)

一、橫濱正金銀行ノ頭取取締役其他ノ役員ニシテ本條例ヲ犯シタル者

### 第四節 日本勸業銀行法

(明治二十九年法律第八十二號)

左ノ場合ニ於テ總裁若ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ又ハ代理スル副總裁ハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラルベシ其事犯副總裁又ハ理事ノ分擔業務ニ係ハルトキハ副總裁理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ(五十六條)

- 一、規定ニ反シ貸付ヲナシタルトキ(十四條ノ)
- 二、規定ニ反シ第一抵當ニ非ザルモノニ對シ貸付ヲ爲シタルトキ(十六條ノ)
- 三、規定ニ反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ(三十二條二項ノ)
- 四、規定ニ反シ此法律ニ記載セザル業務ヲ營ミタルトキ(三十三條ノ)
- 五、規定ニ反シ勸業債券ヲ發行シタルトキ(三十四條ノ) 但第三十七條一項ニ該當スルモノハ此限ニアラズ
- 六、規定ニ反シ勸業債券ノ償還ヲナサザルトキ(三十六條一項三十七條三十九條ノ)
- 七、規定ニ反シ利益金ヲ處分シタルトキ(四十三條ノ)

左ノ場合ニハ總裁副總裁及理事ハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處セラル(五十七條)

一、在任中何等ノ名稱ニ拘ハラズ他ノ職務又ハ商業ニ從事シタルトキ  
備考 以上ノ過料ハ裁判所ノ命令ヲ以テ之レヲ科ス 但シ其命令ニハ十四日以内ニ抗告ヲナスコトヲ得

### 第五節 農工銀行法

(明治二十九年法律第八十三號)

左ノ場合ニ於テ取締役ハ五十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラル(四十六條)

- 一、規定ニ反シ貸付ヲ爲シタルトキ(六條ノ)
- 二、規定ニ反シ第一抵當ニ非ザルモノニ對シ貸附ヲ爲シタルコトキ(八條ノ)
- 三、規定ニ反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ(三十三條二項)
- 四、規定ニ反シ此法律ニ記載セザル業務ヲ營ミタルトキ(二十五條ノ)

五、規定ニ反シ農工債券ヲ發行シタルトキ但シ第二十八條第一項ニ該當スルモノハ此限ニアラズ

六、規定ニ反シ農工債券ノ償還ヲナサザルトキ(二十七條二十八條二項三十條)

七、規定ニ反シ利益金ヲ處分シタルトキ(三十四條)

備考 刑ヲ科スル方法抗告手續等前節ニ同シ

### 第六節 日本與業銀行法

(明治三十三年法律第七十號)

左ノ場合ニ於テ總裁副總裁及理事ハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル但シ事犯ニ關セザルモノハ此限ニアラズ(二十七條)

一、主務大臣ノ認可ヲ受クベキ場合ニ其認可ヲ受ケザルトキ

二、規定ニ反シ本法ニ記載セザル營業ヲナシタルトキ(十一條ノ)

三、規定ニ反シ債券ヲ發行シタルトキ(十二條十六條)

左ノ場合ニ於テ總裁副總裁及理事ハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處セラルベシ(二十八條)

一、何等ノ名稱ニ拘ハラズ他ノ職務又ハ商業ニ從事シタルトキ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此限ニアラズ

### 第七節 臺灣銀行法

(三十年法律第三十八號)

左ノ場合ニ於テ頭取又ハ頭取ノ職務ヲ行ヒ又ハ代理スル副頭取ハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル但シ事犯ニシテ副頭取理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ此者等ヲ同一過料ニ處ス(二十六條)

一、規定ニ反シ此法律ニ記載セサル業務ヲ營ミタルトキ(六條ノ)

- 二、規定ニ反シ銀行券ヲ發行シタルトキ(九條ノ)
- 三、規定ニ反シ準備金ヲ積立テサルトキ(二十條ノ)

### 第八節 北海道拓殖銀行法

(三十二年法律第七十六號)

左ノ場合ニ於テ取締役ハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル(十七條)

- 一、規定ニ反シ此ノ法律ニ記載セサル業務ヲ營ミタルトキ(十條ノ)
  - 二、規定ニ反シ債券ヲ發行シタルトキ(十二條ノ)但シ十五條一項ニ依レルモノハ此限ニアラス)
  - 三、規定ニ反シ債券ノ償還ヲサ、ルトキ(十三、十四、及十五條二項)
  - 四、認可ヲ受クヘキ場合ニ其認可ヲ受ケサルトキ
- 左ノ場合ニ於テ取締役ハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス(二十八條)

一、何等ノ名稱ニ拘ハラス他ノ職務ニ從事シタルトキ但シ營利ヲ目的トセサル業務ニシテ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

備考 北海道拓殖銀行ノ發行スル債券ヲ偽造又ハ變造シテ行使シタルモノハ刑法ノ規定ニ依リ其模造ニ關シテハ通貨證券模造取締法ニ依リ處分セラルヘシ

### 第十八章 擔保附社債信託法

(三十八年法律第五十二號)

左ノ場合ニハ十圓以上千圓ノ過料ニ處ス(百八條)

- 一、規定ニ反シテ擔保附社債ニ關スル信託事業ヲ營ムモノ即チ其規定左ノ如シ
- 擔保社債ニ關スル信託事業ハ特別ノ法律ニ依ル場合ヲ除ク外主務官廳ノ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス(第五條)



左ノ場合ニ於テ會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、清算人、破算管財人、特別代理人(八十九條)又ハ外國會社ノ代表者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處セラル(百九條)

- 一、本法第六條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二、同 第八條ノ規定ニ違反シタルトキ
- 三、本法ニ依ル主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキ
- 四、本法ニ依ル主務官廳ノ検査ヲ妨ケタルトキ
- 五、本法第十七條一項九十七條二項ノ規定ニ違反シタルトキ
- 六、本法ニ依リ債券ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲナシタルトキ
- 七、委託會社ニ於テ債券ヲ發行シタル場合ニ於テ第三十六條ニ定メタル手續ヲ履行セシテ之ヲ交附シタルトキ
- 八、七十二條二項ニ仍ル擔保權ノ保存又ハ實行ヲ怠リタルトキ
- 九、八十八條一項又ハ同三項ノ規定ニ違反シタルトキ

- 十、九十五條一項ニ依ル検査ヲ妨ケタルトキ
- 十一、百五條一項ニ定メタル事務ノ引繼ヲ怠リタルトキ
- 十二、社債權者集會ノ決議ニ依ルヘキ場合ニ於テ之ニ依ラス又ハ之ニ違背シタルトキ
- 十三、社債權者集會又ハ其代表者ニ對シテ不實ノ報告ヲナシ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

左ノ場合ニ於テ會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、清算人、破算管財人、社債ノ總額ヲ引受ケタル者、代表者、特別代理人、外國會社ノ代表者ハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラルヘシ(百十條)

- 一、本法ニ定メタル届出、公告若ハ通知ヲナスコトヲ怠リ又ハ之ニ不正ノ公告者ハ通知ヲ爲シタルトキ
- 二、本法ニ依リ交附スヘキ書類ヲ交附セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲナシタルトキ
- 三、本法ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閱覽セシメサルトキ

四、本法ニ依リ備置クヘキ書類ヲ備置カス之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲナシタルトキ

### 第十九章 工場抵當法

(三十八年法律五十四號)

左ノ場合ニ於テハ十五日以上二月以下ノ懲役ニ處ス但シ刑法ニ正條アルモノニ付テハ刑法ニ從フ(四十九條)

一、工場ノ所有者又ハ法律ニ依リ之ニ代リテ一切ノ行爲ヲ爲ス權利ヲ有スル者カ讓渡又ハ質入ノ目的ヲ以テ第二條(抵當權ノ及フ範圍)ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タル物ヲ第三者ニ引渡サシメタルトキ

左ノ場合ニハ刑法ノ例ニ照シ其刑ヲ輕減ス(五十條)

一、工場ノ所有者カ抵當權ノ目的トナシタル物又ハ抵當權ノ目的トナシタル工場財團

ニ屬スル物ヲ毀損シ又ハ毀損セシメタルトキ

### 第二十章 特許、意匠、商標、

#### 第一節 特許法

(四三年法律二三號)

次ノ場合ニハ三年以下ノ懲役ニ處シ又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(九十五條)

一、證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ僞證又ハ詐僞ノ鑑定ヲ爲シタルトキ

二、賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シテ僞證又ハ詐僞ノ鑑定ヲ爲サシメタル者  
注意 以上ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ査定、審決若ハ決定ニ至ラサル前特許局若ハ囑託ヲ受ケケル裁判所ニ自首シタルトキハ本刑ヲ減免ス

左ノ場合ニハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス(九二條)

一、特許侵害及其目的ヲ以テ輸入シタル者

左ノ場合ニハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス(九六條)

一、證人鑑定人故ナク呼出ニ應セサルトキ

左ノ場合ニハ一年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス(九六條)

一、特許辨理士ニアラサル者カ代理行爲ヲナシタルトキ

左ノ場合ニハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓ノ罰金ニ處セラル(九三條)

一、詐欺ノ所爲ヲ以テ特許ヲ受ケタル者又ハ特許ヲ受ケサル物品ニ特許證標ヲ付シ若

ハ之ニ紛ハシキ表示ヲナシタル者又ハ情ヲ知り其物品ヲ販賣シタル者

二、特許ヲ受ケサル物品ヲ販賣スル爲廣告、看板、引札等ニ於テ特許品タルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

### 第二節 特許代理業者登録規則

(三十二年勅令第二三五號)

左ノ場合ニハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス(十五條)

一、登録ヲ受ケスシテ特許代理業ヲ營ミ若ハ特許代理業者ト公稱シタル者又ハ詐僞ノ所爲ヲ以テ登録ヲ受ケタル者

二、特許代理業ヲ停止若ハ禁止セラレ又ハ登録ノ效ヲ失ヒ仍業務ヲ營ミタルモノ

### 第三節 意匠法(四十二年法律第二四號)

一、左ノ場合ニハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(二十七條)

イ、證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ偽證又ハ詐僞ノ鑑定ヲナシタルトキ

ロ、賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐僞ノ鑑定ヲナサシメタル者

注意 前二項ノ罪ヲ犯シ其事件ノ査定又ハ審決ニ至ラサル前特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

三、左ノ場合ニハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(二十四條)

イ、他人ノ登録意匠ヲ模擬シタル者又ハ情ヲ知リテ其物品ヲ販賣シタル者

ロ、他人ノ登録意匠ヲ侵害スヘキ物品ナルコトヲ知り之ヲ外國ヨリ輸入シタル者又ハ情ヲ知リテ其物品ヲ販賣シタル者

本犯ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス(親告罪)

右犯罪ニ仍リ沒收シタル物件ハ意匠登録證主ニ給付ス

三、左ノ場合ニハ一年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス(二五條)

イ、詐偽ノ所爲ヲ以テ意匠ノ登録ヲ受ケタル者又ハ登録ヲ受ケサル意匠ヲ應用シタル物品ニ登録證標ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其物品ヲ販賣シタル者

ロ、登録ヲ受ケサル意匠ヲ應用シタル物品ヲ販賣スル爲廣告、引札、看板等ニ於テ其意匠ノ登録ヲ受ケタルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

四、證人鑑定人故ナク呼出ニ應セサルトキハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス(二八條)

五、特許辨理士ニ非サル者ニシテ辨理士ノ事務ヲ取扱ヒタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處セララル(二九條)

#### 第四節 商標(四十二年法律二五號)

一、左ノ場合ニハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(二六條)

イ、證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲シタルトキ

ロ、賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲナサシメタル者

以上ノ犯罪ニシテ査定又ハ審決前特許局又ハ囑託裁判所ニ自首シタルトキハ本刑ヲ減免ス

二、左ノ場合ニハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處セララル(二三條)

一、他人ノ登録商標ナルコトヲ知り其承諾ヲ經スシテ之ト同一又ハ類似ノ商標ヲ製造シ之ヲ交附若ハ販賣シタル者又他人ノ登録商標ト同一若ハ類似ノ商標ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知リテ其商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲メ所藏ナシタル者

二、他人ノ登録商標ヲ有スル容器、包装等ナルコトヲ知り之ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知リテ其商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲メ所藏シタル者又ハ他人ノ登録商標ト同一若ハ類似ノ商標ヲ其商品販賣ノ廣告、看板、引札等ニ使用シタル者

右犯罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス(親告罪)

三、左ノ場合ニハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以上ノ罰金ニ處ス(二十四條)

イ、詐偽ノ所爲ヲ以テ商標ノ登録ヲ受ケタル者又ハ受ケサル商標ニ登録標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ラハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其商品ヲ販賣シ又ハ販賣ノ爲メ所藏ナシタル者

ロ、登録ヲ受ケズシテ標記又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ付シタル商標ヲ其商品販賣ノ廣

告、看板、引札等ニ使用シタル者

以上ノ場合ニ於ハ商標及商標ヲ表示スヘキ原具ヲ沒收ス其商標ト分離スヘカラサル商品、容器、包装等ハ之ヲ毀壞セシム

四、證人鑑定人故ナク呼出ニ應セサルトキハ四十圓以下ノ罰金ニ處セラル

五、特許辨理士ニ非サル者カ同一ノ營業ヲナシタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

## 第二十一章 實用新案法

(明治四十二年法律二六號)

實用新案法ニ依ル罰則左ノ如シ

一、左ニ掲ケル場合ニハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處セル

イ、實用新案ノ登録ヲ受ケタル物品ヲ偽造、模造シ又ハ偽造品模造品ヲ販賣擴布若

クハ使用シタル者

ロ、實用新案ノ登録ヲ受ケタル物品ト同一又ハ類似タルモノナルコトヲ知り之ヲ外國ヨリ輸入シタル者

以上ノ罪ハ實用新案權者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

右ノ場合ニ於ケル偽造品模造品輸入品ハ之ヲ沒收シ之レヲ實用新案權者ニ給付ス

二、左ノ場合ニハ一年月以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處セラルヘシ

イ、詐偽ノ所爲ヲ以テ實用新案ノ登録ヲ受ケタル者又ハ實用新案ノ登録ヲ受ケサル物品又ハ其ノ包装上ニ實用新案登録ノ標記ヲ附シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其物品ヲ販賣シタル者

ロ、實用新案ノ登録ヲ受ケサル物品ヲ販賣又ハ擴布スル爲メ廣告、看板、引札等ニ於テ實用新案登録品タルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者

三、左ノ場合ニハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(二五條)

一、證人又ハ鑑定人通事ニシテ偽證若ハ詐偽ノ陳述ヲナシタルトキ

二、賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑托シ偽證若ハ詐偽ノ陳述ヲナサシメタル者

以上ノ場合ニ於ケ其事件ノ査定又ハ審決前自首シタルモノハ本刑ヲ減免ス

四、左ノ場合ニハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス(二十六條)

特許局ヨリ證人、鑑定人又ハ通事トシテ呼出サレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス又ハ其義務ヲ盡サザルトキ

五、特許辨理士ニ非サル者カ同種ノ營業ヲナシタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處セラル

### 第二十二章 度量衡法(四十二年法律四號)

度量衡法ニ依ル罰則如左

一、左ノ場合ニハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(十四條)

- イ、停止中營業シタルモノ
- ロ、免許ヲ受ケスシテ度量衡ノ製作又ハ修復ノ業ヲ營ミタル者
- 二、八條ニ違背シテ不正ノ使用ヲシタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(十三條)
- 三、虚偽ノ答辨又ハ職務執行妨害、忌避、支障ヲナシタル者等ハ百圓以下ノ罰金科料ニ處ス(十六條)

## 第十一編 運輸通信法規

運輸及通信ニ關スル法規中ニハ鐵道、軌道、船舶、船員、郵便、貯金、爲替、電信、電話ニ關スル法律規則アリ以下章ヲ別チテ掲出セン

### 第一章 鐵道

#### 第一節 私設鐵道法

(三十三年法律第六十四號)

私設鐵道法中罰則左ノ如シ

左ノ場合ニハ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス(八十四條)

假免許ヲ受ケスシテ會社設立ノ行爲ヲナシタル者又ハ免許ヲ受ケスシテ工事ニ着手シタル者

左ノ場合ニハ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス(八十五條)

事故審査ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ現狀存置ノ命令ニ違反シ又ハ呼出訊問ニ應セス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者

左ノ場合ニハ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス(八十六條)

規定ニ違反シ(四十五條)運輸ヲ開始シ、同(四十七條)建設物ヲ運輸ノ用ニ供シ又ハ(四十四條)二項四十八條二項)停止命令ニ違反シタル取締役

左ノ場合ニハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス(八十七條)

呼出ニ應セス(十九條)二項二十七條五十條)説明ヲ拒ミ若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者

左ノ場合ニ於テ發起人取締役ハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラル(八十八條)

一、本法ニ定メタル登記事項ノ登記ヲ怠リタルトキ

二、規定ノ公告中ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲナシタルトキ

三、鐵道臺帳ノ調製備置ヲ怠リ之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シ

タルトキ

四、本法ニ定メタル營業報告、統計書、事故届出及法令ニ基キテ監督官廳ノ命シタル報告届出ノ呈出ヲ怠リ又ハ故意ニ不正ノ報告届出ヲナシタルトキ

五、法令ノ規定若ハ法令ニ基キテ發シタル命令又ハ免許、許可若ハ認可ニ付シタル條件ニ基キテ發シタル命令ニ違反シタルトキ

左ノ場合ニハ取締役ヲ十圓上千以圓以下ノ過料ニ處ス(八十九條)

一、本法ニ依リ、認可ヲ受クヘキ事項ニ關シ之ヲ受ケスシテ施行シタルトキ

二、規定ニ反シ(二十五條)株式ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受ケタルトキ

三、規定ニ違反シ(三十二條)配當ヲ爲シタルトキ

四、本法ニ定メタル主務大臣ノ裁定ヲ遵守セサルトキ

### 第二節 鐵道營業法(三十三年法律六十五號)



鐵道營業上ニ關スル罰則ハ第一、鐵道係員ニ關スルモノト、第二、旅客及公衆ニ關スルモノトノ貳種アリ左ニ掲記セン

第一、鐵道係員ニ關スル罰則

二十五圓以下ノ罰金ニ處セラルモノ(二十四條)

一、鐵道係員職務取扱中旅客若ハ公衆ニ對シ失行アリタルトキ

五圓以上五百圓以下ノ罰金又ハ三月以下ノ懲役ニ處セラルモノ(二十五條)

一、鐵道係員職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リ旅客若ハ公衆ニ危害ヲ醸スノ處レアル所爲アリタルトキ

二十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘキモノ(二十六條)

一、鐵道係員旅客ヲ強ヒテ定員ヲ超エ車中ニ乗込マシメタルトキ

二、鐵道係員道路踏切ノ開通ヲ怠リ又ハ故ナク車輛其ノ他ノ器具ヲ踏切ニ留置シ因テ往來ヲ妨害シタルトキ(二十八條)

三年以下ノ懲役ニ處シ五百圓以下ノ罰金ヲ附加セラルヘキモノ(二十七條)

一、鐵道係員旅客若ハ荷送人又ハ荷受人ト通牒シ運賃ノ一部又ハ全部ヲ免レシメタルトキ

第二、旅客及公衆ニ對スル罰則

五十圓以下ノ罰金ニ處セラルヘキモノ

一、運賃ヲ免カル、ノ目的ヲ以テ左ノ所爲ヲナシタルモノ(二十九條)

イ、有效ノ乗車券ナクシテ乗車シタルトキ

ニ、乗車券ニ指示シタルモノヨリ優等ノ車ニ乗シタルトキ

ロ、乗車券ニ指示シタル停車場ニ於テ乗車セサルトキ

二、鐵道運送ニ關スル法令ニ背キ火藥類其他爆發質危險品ヲ託送シ又ハ車中ニ携帯シタルトキ(三十一條)

三、列車警報器ヲ濫用シタル者(三十二條)

四、車輛、停車場其他鐵道地内ノ標抗掲示ヲ改竄、毀棄、撤去シ又ハ燈火ヲ滅シタル者  
(三十六條一項)

左ノ場合ニハ三月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス(三十條)

一、運送品ノ種類若ハ性質ヲ詐稱シ又ハ運賃ヲ免カル、目的ヲ以テ詐偽ノ所爲ヲナシ  
タルモノ

左ノ場合ニハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一、旅客左ノ所爲ヲナシタルトキ(二十三條)

イ、列車運轉中乗降シタルトキ

ロ、列車運轉中車輛ノ側面ニアル扉ヲ開キタルトキ

ハ、列車中旅客乗用ニ供セサル箇所ニ乘リタルトキ

二、車内、停車場其他鐵道地内ニ於テ發砲シタル者(三十九條)

科料ニ處セラレヘキモノ

一、制止ヲ肯セスシテ左ノ所爲ヲ爲シタル者(二十四條)

イ、停車場其他鐵道地内吸煙禁止場及吸煙禁止車内ニ於テ吸煙シタル者

ロ、婦人ノ爲メニ設ケタル待合室及車室等ニ男子妄ニ立入りタルトキ

二、車内停車場其他鐵道地内ニ於テ妄狀ヲ現ハシ其他不良ノ行狀ヲナシタル者(三十

五條)

三、停車場其他鐵道地内ニ妄ニ立入りタル者(二十七條)

左ノ場合ニハ三月以上三年以下ノ懲役ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加セラレ

(三十六條二項)

一、信號機ヲ改竄、毀棄、撤去シタル者

左ノ場合ニハ一年以下ノ懲役ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス(二十八條)

一、暴行脅迫ヲ以テ鐵道係員ノ職務執行ヲ妨害シタル者

左ノ場合ニハ十圓以下ノ罰金ニ處セラレ(四十條)

一、列車ニ向テ瓦石類ヲ投擲シタル者 但シ依テ損壞等生セシメタル者ハ刑法ニ依リ處斷セラルヘシ

左ノ場合ニハ百圓以下ノ罰金ニ處セラル(四十一條)

一、規定ニ違反シ傳染病者ヲ乗車セシメタル者

二、傳染病者自ラ隱蔽シタルトキ

左ノ場合ニ於テ鐵道係員ハ旅客及公衆ヲ車外又ハ鐵道地外ニ退去セシム(四十二條)

一、有効ノ乗車券ヲ所持セス又ハ検査ヲ拒ミ支拂ヲ肯セサルトキ

二、危険ノ行爲ヲ爲シ係員ノ制止ヲ肯セサルトキ又ハ秩序ヲ亂シタルトキ(三十三條三十四條)

三十四條)

三、科料ニ處セラルヘキ(三十七條三十五條ノ)罪ヲ犯シタルトキ

四、其他車内ニ於ケル秩序ヲ紊ルノ所爲アリタルトキ

### 第三節 鐵道抵當法(三十八年法律第五十三號)

鐵道抵當法中ノ罰則ハ取締役又ハ管理人ニ關係アルモノノミナレトモ左ニ掲記ス左ノ場合ニ於テ取締役又ハ管理人ハ十圓以上千圓以下ノ科料ニ處セラル(九十二條)

一、本法ニ定メタル規定ヲ遵守セサルトキ

二、第九條ノ規定ニ違反シタルトキ(鐵道財團物賣却不可)

三、規定ノ催告ヲナサザルトキ(二十條又ハ二十一條)

四、登録ニ關シ不正ノ申請ヲ爲シタルトキ又ハ(三十一條)登録申請ヲナサザルトキ

五、鐵道財團目錄ニ不正ノ記載ヲナシタルトキ又ハ規定(三十四條)ノ届出ヲナサザルトキ若ハ不正ノ届出ヲナシタルトキ

トキ若ハ不正ノ届出ヲナシタルトキ

六、管理方法ニ關シ主務官廳ノ命令ニ違反シタルトキ

七、決算報告書ヲ差出サザルトキ又ハ不正ノ報告ヲナシタルトキ

八、配當額ノ交付ヲ爲サバルトキ又ハ規定ニ反シテ配當額ノ交付ヲナシタルトキ  
九、所定ノ(八十九條二項)通知ヲナサバルトキ

第四節 鐵道專用規則(二十三年逡信省令第二十八號)

專用鐵道トハ一個人ニ於テ專用スルモノニシテ其罰則左ノ如シ  
本法ニ違反シタルモノハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス(十三條)

第二章 船舶

第一節 船舶法(三十二年法律第四六號)

左ノ場合ニハ船長ヲ二百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處シ尙情狀重キモノハ船舶ヲ沒收ス(二十三條)

一、日本船舶ニ非スシテ不開港場ニ寄港又ハ物品旅客ノ運送ヲナシタルトキ

左ノ場合ニハ二月以上三年以下ノ懲役ニ處シ百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加ス(二十四條)

一、官吏ヲ欺キ船舶原簿ニ不實ノ登錄ヲ爲サシメタル者

此場合ノ未遂ハ之レヲ罰ス

左ノ場合ニハ船長ヲ十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス(二十五條)

一、國旗掲揚規定(第六條)ニ違反シタルトキ

左ノ場合ニハ船長ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス(二十六條)

一、第七條ニ從ヒテ日本國旗ヲ掲ケサルトキ

左ノ場合ニハ船舶所有者ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス(二十七條)

一、第七條ニ定メタル事項ヲ船舶ニ標示セサルトキ又ハ第八條乃至十二條若ハ十四條ノ規定ニ違反シタルトキ

二、第三十九條第一項二項ノ規定ニ違反シタルトキ(三十九條二項)

船舶法施行細則ニ仍リ船舶所有者ヲ二十五圓以下ノ罰金ニ處スル場合左ノ如シ

一、本細則ニ依リ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ヲ返還スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ其義務ヲ怠リタルトキ(五十四條)

### 第二節 船舶検査法(二十九年法律六十七號)

左ノ場合ニハ船長ヲ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一、逓信大臣ノ特ニ定ムル場所ヲ除ク外船舶検査證書若クハ假證書ヲ受有セスシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シ又ハ船舶検査證書若ハ假證書ニ記載スル船舶ノ航路定限航行期間若ハ汽壓制限ヲ超ヘテ航行シ又ハ検査官吏ノ臨檢ヲ拒ミ若ハ航行停止命令ニ違背シ又ハ屬具ノ整備ヲナサスシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ(十條一項)
  - 二、詐偽ノ所爲ヲ以テ船舶検査證書若ハ假證書ヲ受ケタル者(同條二項)
- 左ノ場合ニ船長八十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セララル(同條三項)

一、船舶検査證書若ハ假證書ニ旅客定員ノ記載ナキ船舶ニ旅客ヲ搭載シ又ハ該證書ニ記載シタル旅客定員ヲ超ヘテ搭載シタルトキ

以上ノ場合ニハ刑法累犯ノ例ヲ用ヒス

### 第三節 船鑑札規則(四十年逓信省令第二十四號)

船鑑札ヲ返還スヘキ場合ニ返還セサル船舶所有者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處セララルヘシ(二十一條)

### 第四節 造船獎勵法(二十九年法律第十六號)

左ノ場合ニハ一年以上五年以下ノ懲役ニ處シ二百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加ス因テ得タル獎勵金ハ償還セシム(五條)

一、詐偽ノ所爲ヲ以テ造船獎勵金ヲ受ケタル者

本罪ノ未遂ハ之ヲ罰シ、刑法併合罪ノ例ハ用ヒス

### 第五節 航海獎勵法(二十九年法律十五號)

左ノ場合ニハ一年以上五年以下ノ懲役ニ處シ二百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加ス(十三條)

一、詐僞ノ所爲ヲ以テ航海獎勵金ヲ受ケタル者又ハ十一條ノ規定ニ違反シタル者(獎

勵金ヲ受クヘキ認可ヲ受ケタル船舶ハ外國人ヘ賣渡又ハ貸渡交換贈與、質、抵當ト

ナスコトヲ得ス十一條ノ規定)

本罪ノ未遂ハ之ヲ罰ス

左ノ場合ニハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス(十四條)

一、此法律ニ依リ遞信大臣ノ發スル命令又ハ第九條ノ(外國人雇傭ノ件)規定ニ違背シタル者

## 第三章 船員

### 第一節 船員法(三十二年法律第四十七號)

船員ノ罰則ハ左ノ如シ

左ノ場合ニハ十五日以上六月以下ノ懲役ニ處シ二百圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(四十六條)

一、詐僞ノ所爲ヲ以テ船員手帖ヲ受ケタル者

二、詐僞ノ所爲ヲ以テ海員名簿ニ公認ヲ受ケ又ハ船員手帖ニ認證ヲ受ケサル者

左ノ場合ニハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處セラル(四十七條)

一、規定ニ反シ船員手帖ノ交附訂正若ハ公認ノ認證ヲ申請シ又ハ船員手帖ヲ返還スル

コトヲ怠リタル者

左ノ場合ニハ一月以上二年以下ノ懲役ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス  
(四十八條)

- 一、虚偽ノ海員名簿又ハ船員手帖ヲ行使シタル者
  - 二、公認ヲ受ケタル海員名簿又ハ認證ヲ受ケタル船員手帖ヲ増減シテ行使シタル者
- 左ノ場合ニハ船長ヲ十一日以上六月以下ノ懲役ニ處シ又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス(四十九條)

- 一、船長カ正當ノ理由ナクシテ商法上必要ノ書類ヲ船中ニ備ヘサルトキ又ハ毀棄シタルトキ
  - 二、船長カ規定ニ反シ書類ノ提出ヲ拒ミタルトキ
  - 三、船長カ商法上規定ノ書類ニ記載ヲ怠リ又ハ不正ノ記載ヲナシタルトキ
  - 四、船長カ虚偽ノ報告ヲナシタルトキ
- 左ノ場合ニ於テ船長ハ十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處セララル(五十條)

- 一、船長カ商法上ノ検査ヲナサスシテ發航ヲナシタルトキ
  - 二、船長カ安全ニ船舶ヲ淀泊セシメ且ツ商法ノ規定ニ依リ其職務ヲ委任セスシテ船舶ヲ去リタルトキ
  - 三、船長カ規定ニ反シテ甲板ニ在ノサルトキ
  - 四、船長カ必要ナクシテ豫定ノ航路ヲ變更シタルトキ
- 左記條項ニ違反シタル船長ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セララル(五十一條)
- 一、本法十六條一項 十七條一項二項 二十二條又ハ三十一條ノ規定
- 船長カ本法第十九條ニ違反シタルトキハ二月以上五年以下ノ懲役ニ處ス(五十二條)
- 左ノ場合ニ於テ船長ハ一月以上三年以下ノ懲役又ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處セララル(五十三條)
- 一、規定ニ違反シテ人命又ハ船舶ノ保護ニ必要ナル手段ヲ盡サ、ルトキ
- 尙規定ニ反シテ告知ヲナサ、ルトキハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處セララル

船長カ本法二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ十一日以上一年以下ノ懲役又ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス(五十四條)

海員カ左ノ行爲アリタルトキハ十一日以上三年以下ノ懲役ニ處ス(五十五條)

一、船舶ニ急迫ナル危険アル場合ニ於テ船長ノ許可ヲ得スシテ其船舶ヲ去リタントキ

海員ハ左ノ場合ニ於テ十一日以上一年以下ノ懲役又ハ五百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處

セラル(五十六條)

一、船長カ人命又ハ船舶保護ニ必要ナル手段ヲナスニ當リ上長ノ命令ニ服從セサルト

キ

左ノ場合ニ於テ船長ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處セラル(五十七條)

一、規定ニ違反シテ送還ノ命令ヲ拒ミタルトキ

船舶所有者又ハ船長ハ二十六條ニ反シタルトキハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處セ

ラル(五十八條)

左ノ場合ニ船長ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラル(五十九條)

一、規定ノ證明書ヲ交付セス又ハ不正ノ記載ヲナシタル證明書ヲ交付シタルトキ

此場合ハ告訴ヲ待チ其罪ヲ論ズ

船長カ三十四條一項ニ反シタルトキハ五圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス(六十條)

海員ハ左ノ場合ニ於テ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處セラル(六十一條)

一、雇入ノ手續終ハリタル後正當ノ事由ナクシテ船長ノ指定シタル時ニ於テ船舶ニ乘

ゼサルトキ

海員ハ左ノ場合ニ於テ十一日以上六月以下ノ禁錮ニ處シ又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金

ニ處ス(六十二條)

一、船長カ紀律上處分ヲナスニ當リ海員ニ助力ヲナスヘキコトヲ命シタル場合ニ服從

セサルモノ

左ノ場合ニハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス(六十三條)



一、船員、旅客其他船中ニアリタル者本法ノ規定ニ依リ管海官應ヨリ呼出ヲ受ケ又ハ書類ノ提出ヲ命セラレタル場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ之ニ應セザルトキ

左記ノ行爲アリタルトキハ海員ハ各頭書ノ刑ニ處セラル(六十四條)

一、二圓以上、二十圓以下ノ罰金、船長ノ許可ヲ得スシテ二十四時間以上船中ニアラサ

ルトキ(外國ニ於テ犯シタルトキハ加重セラル)

二、十一日以上六月以下ノ懲役、脱船シタルトキ同上

左記行爲ノ船長ノ處分(六十六條)

一、一月以上二年以下ノ懲役、正當ノ理由ナクシテ船舶ヲ遺棄シタルトキ

二、一月以上一年以下ノ懲役、正當ノ理由ナクシテ海員ヲ遺棄シタルトキ

海員ハ左ノ場合ニ於テ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル(六十六條)

一、船長ノ許可ヲ得スシテ兇器爆發物又ハ發火シ易キ物劇藥其他ノ危險物ヲ所持シタ

ルトキ

左ノ場合ニハ十一日以上三年以下ノ懲役ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(六十七條)

一、故ナク船體若クハ機關ノ要部ヲ毀損シ又ハ重要ナル器具ヲ毀損若クハ放棄シタル者

前項ノ罪ヲ犯シ因テ船舶ノ運航ヲ妨ケタルトキ及ヒ船舶ヲ覆没シ又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ其刑ヲ加重セラル

左ノ場合ニハ十一日以上三月以下ノ懲役又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス(七十

一、船長カ旅客、

海員其他船中ニ在ル者ニ對シテ其職權ヲ濫用シ又ハ虐待シタルトキ

二、前項ノ罪ヲ犯シ人ヲ死傷ニ致シタルトキハ刑法ノ例ニ依リ處斷ス

海員カ相黨與シテ左ノ行爲ヲナシタルトキハ各號ノ區別ニ依リテ處斷シ首魁ハ加重セラル(七十二條)

- 一、職務ニ服セス又ハ上長ノ命令ニ服從セサルトキハ一日以上六月以下ノ懲役ニ處ス
  - 二、脱船シタルトキハ一年以上以下ノ懲役ニ處ス
  - 三、脅迫又ハ傷害行爲アルトキハ刑法ノ例ニ照シ其刑ヲ加重ス
- 左ノ場合ニハ船員ハ一年以上五年以下ノ懲役又ハ十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處セラル  
(七十二條)

- 一、船員カ著シク職務ヲ怠リ因テ船舶ヲ毀損若ハ覆没シ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキ左ノ場合ニハ刑法ノ例ニ依リ處斷セラル
- 一、船舶ノ運航ヲ妨クル目的ヲ以テ船體機關要部毀損若クハ放棄シタル者ハ懲役ニ處シ因テ船舶ヲ覆没シ又ハ人ヲ死ニ致シタルトキハ刑法ノ例ニ依リ處斷セラル(六十八條)
- 二、海員カ上長ニ對シテ脅迫ノ罪ヲ犯シタルトキハ刑法ノ例ニ依リテ刑ヲ加重セラル

### 第二節 海員懲戒法(二十九年法律六十九號)

懲戒ノ外罰則アリ即チ左ノ如シ

左ノ場合ニハ二圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス(四十六條)

- 一、海員審判所又ハ受命審判官ヨリ證人トシテ呼出サレタル者及鑑定又ハ通事ノ爲メ呼出サレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス若ハ其ノ義務ヲ盡ササルトキ

左ノ場合ニハ一月以上一年以下ノ懲役ニ處シ五圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加セラル  
(四十七條)

- 一、證人トシテ海員審判所ニ呼出サレタル者偽證ヲ爲シタルトキ及鑑定又ハ通事ノ爲メ海員審判所ニ呼出サレタル者詐僞ノ陳述ヲナシタルトキ
  - 二、賄賂其他ノ方法ニ依リ人ニ囑託シテ偽證又ハ詐僞ノ鑑定通事ヲナサシメタル者
- 前項ノ罪ヲ犯シタル者其事件ノ裁決言渡ニ至ラサル前ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免セ

第三節 水先 法(三十二年法律六十六號)

水先人ノ懲戒法ハ前海員懲戒法ノ規定ヲ準用セラルヘシト雖モ尙左ノ罰アリ  
左ノ場合ニハ一月以上三年以下ノ懲役ニ處シ又ハ五十圓以上六百圓以下ノ罰金ニ處ス  
(二十二條)

一、水先人其ノ業務ヲ怠リ困テ船舶ヲ毀損シ若ハ之ヲ沈没セシメ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキ

二、水先人ニアラサル者水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シ困テ船舶ヲ毀損シ若ハ之ヲ沈没セシメ又ハ人ヲ死傷ニ致シタルトキ

左ノ各號ニ該當スル者ハ二圓以上二百五十圓以下ノ罰金ニ處ス(二十三條)

一、規定ニ(四條)反シテ水先人ノ業務ヲ營ミタル者及之ヲシテ水路ヲ嚮導セシメタル

二、本法八條二、三項又ハ十三條ノ規定ニ違反シタル者

三、規定(十五條)ニ反シテ水先案內料ヲ授受シタル者

四、水先免狀ヲ貸付シテ之ヲ行使セシメタル者

五、詐欺ノ目的ヲ以テ船舶ノ喫水若ハ積量ニ付水先人ニ對シテ不實ノ告知ヲ爲シ又ハ喫水ノ標識ヲ變更シタル者

六、水路ノ嚮導ヲ要求セラレタル場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ之ニ應セサル者又ハ應シタルモ正當ノ事由ナクシテ水路ヲ嚮導セサル者

七、水路ノ嚮導ヲ要シタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ水先人ヲシテ水路ヲ嚮導セシメ又ハ正當ノ理由ナクシテ水先人ヲ水先區外ニ供ヒタル者

八、水先人ニアラスシテ水先區ニ於テ案内シタル者  
左ノ場合ニハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス(二十四條)

一、本法五條十條及至十二條ノ規定ニ違反シタル者

二、水先人ヲ票招スル爲メニアラスシテ水先信號又ハ之ト誤認シ易キ信號爲シタル者  
三、水先人水先修業生ヲ伴ヒタル場合ニ於テ(十六條ニ依リ)之ヲ拒ミタル者水先人水先修業生ヲ又ハ十六條但書ノ規定ニ反シテ水先修業生ヲ伴ヒタル者

四、規定ノ通り水先船ヲ艤裝セス又ハ水先船免狀ヲ有セスシテ水先船ヲ使用シタル者  
五、水先人ニアラスシテ水先旗若ハ之ト誤信シ易キ旗ヲ船舶ニ掲揚シ又ハ海上衝突豫防法八條ノ點燈及信號ヲ爲シタル者

六、水先人ニアラスシテ規定ニ依リ艤裝シタル水先船又ハ之ト誤認シ易キ船舶ヲ使用シタル者

左ノ場合ニハ水先案内料同額以上ノ二倍以下ノ罰金ニ處ス(二十五條)

船長水先區ニ於テ水先人ニアラサル者ヲシテ水路ヲ嚮導セシメタルトキ

### 第四章 郵便

#### 第一節 郵便法(二十三年法律五十號)

郵便法上ノ罰則左ノ如シ

左ノ場合ニハ二月以上二年以下ノ懲役ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金附加ス(四十一條)

一、信書ノ配達ヲ營業トナシタル者、此場合ニ收得金ハ沒收又ハ追徴セラル

左ノ場合ニハ十圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス(四十二條)

郵便官署ノ要求アリタル場合ニ於テ運送營業者カ郵便物運送ヲ拒ミタルトキ

左ノ場合ニ於テハ科料ニ處セラル(四十三條)

一、執務中ノ集配人ニ通行ヲ拒ミ、執務中郵送事故ヲ生シタル場合ニ助力ヲ拒ミ執務中ノ郵送、集配人等ニ通行錢ヲ強要シ又ハ正當ノ事由ナクシテ渡津ヲ拒ミ若ハ故ナク郵便物ノ受取ヲ拒ミタル者

左ノ場合ニハ一月以上一年以下ノ懲役ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(四十四條)

一、郵便官署ノ取扱中ニ係ハル信書ノ秘密ヲ侵シタル者

郵便事務ニ従事スル者ノ犯罪ニ係ハルトキハ加重セラル、本罪ハ親告罪ナリ

左ノ場合ニハ十圓以下ノ罰金ニ處セラル(四十五條)

書狀ヲ小包郵便トナシタル者

左ノ場合ニハ五十圓以下ノ罰金ニ處シ物件ヲ沒收ス(四十六條)

郵便禁制品ヲ郵便物トシテ差出シタル者

左ノ場合ニハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(四十七條)

不正ノ手段ヲ以テ郵便ニ關スル料金ヲ免レ又ハ免レントシタル者、其職ニ従事スル者本罪ヲ犯シタルトキハ刑ヲ加重セラル

左ノ場合ニハ一年以上五年以下ノ懲役ニ處シ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(四十八條)

帝國政府及郵便聯合條約國政府ノ發行スル郵便切手其他郵便料金ヲ表彰スヘキ證票ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知リテ之ヲ使用シタル者、該證書ハ沒收ス

左ノ場合ニハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス(四十九條)

前項ノ證票又ハ切手ヲ再ヒ使用シタル者

左ノ場合ニハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス(五十條)

其職ニアル者官署取扱中ノ郵便物ヲ使用シタル郵便切手其他料金表彰ノ證票ヲ剽奪切取シタルトキ、但シ未タ消印ナキモノハ刑法盜罪ニ依ル

左ノ場合ニハ一月以上二年以下ノ懲役ニ處シ二十圓以下ノ罰金附加(五十二條)

官署取扱中ニ係ハル郵便物ヲ正當ノ事由ナクシテ開披、毀損、隱匿若クハ拋棄シタル者又ハ受取人ニ非サル者ニ交附シ若ハ情ヲ知テ之ヲ受取リタル者其職ニアル者ノ犯罪ハ刑ヲ加重セラル

左ノ場合ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處セラル(五十三條)

正當ノ事由ナクシテ郵便物ノ取扱ヲ拒絶シ若ハ其ノ運送ヲ遅延セシメタル者又ハ重ナル過失ニ依リ郵便物ヲ失ヒタル者

左ノ場合ニハ一年以上五年以下ノ懲役ニ處シ五十圓以下ノ罰金附加(五十四條)

郵便専用ノ物件其ノ他現ニ郵便ノ用ニ供スル物件ヲ破壊損傷シタル者

備考 郵便事務ニ従事スル者官署ノ取扱中ニ係ハル郵便物ヲ窃取シタルトキハ刑法ノ

例ニ照シ一等ヲ加フ(五十一條)

不正ノ手段ヲ以テ料金ヲ免レ又ハ免レントスル犯罪ノ外本法ノ罰則未遂罪ハ之ヲ罰ス

### 第二節 鐵道船舶郵便法(三十三年法律五十六號)

本法ノ罰則左ノ如シ

一、郵便官署ノ列車船客要求ニ應セサル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金(十四條)

二、同上運送方法ノ要求ニ應セサル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金(十五條)

三、天災事變ニ依リ進行停止又ハ陸揚ノ場合ニ於テ當業者カ之ヲ郵便官署ニ送達セサルトキハ十圓以上百圓以下ノ罰金(十六條)

四、過失ニ因リ運送中ノ郵便物ヲ亡失シ又ハ毀損シタル當業者ハ前同上ノ罰金(十七條)

五、發着時間變更ノ報告ヲナサヌ又ハ着船ノ際他ノ荷物ニ先チ陸揚セサル當業者(十八條)

備考 法人ノ業務ニ關シ其ノ代表者又ハ雇人其他從業者以上ノ罪ヲ犯シタルトキハ其罰則ハ本人ニ適用ス

法人ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ代表者ヲ處罰ス(十九條)

## 第五章 電信

第一節 電信 (三十三年法律五十九號)

電信法ニ依ル罰則左ノ如シ

- 一、權利ナクシテ電信又ハ電話ヲ私設シタル者、又ハ權利ヲ失ヒタル後主務官廳ノ指定シタル期間内ニ私設ノ電信若ハ電話ヲ撤去セサル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其電線又ハ電話線又ハ電話ノ機器ヲ沒收ス  
前項ノ場合ニ於テ他人ノ用ニ供シ因テ得タル金錢物品ハ沒收又ハ追徴ス  
其電信又ハ電話ヲ使用シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス(二十七條)
- 二、公衆用ニ供スル私設ノモノヲ除ク外私設ノ電信電話ヲ他人ヲ用ニ供シタル者又ハ私設者ニアラスシテ之ヲ使用シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス  
以上ノ場合ニ於テ收得ノ金錢物品ハ之ヲ沒收又ハ追徴ス(二十八條)
- 三、公衆用ノ私設電話ヲ正當ノ事由ナクシテ供用ヲ拒ミ又ハ改築ヲ命セラレタル場合

ニ應セサルモノハ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス(二十九條)

- 四、執務中ノモノニ通行ヲ拒ミ、助力ヲ拒ミ、通行錢ヲ強要シ若ハ理由ナク渡津ノ出船ヲ拒ミタルモノハ科料ニ處ス(三十條)

- 五、電信官署又ハ電話官署ノ取扱中ニ係ハル通信ノ秘密ヲ犯シタル者ハ一月以上一年以下ノ懲役ニ處シ二十圓以下ノ罰金附加(三十一條)

本罪ヲ犯シタル者其職ニアルトキハ刑ヲ加重セラル、本犯ハ親告罪ナリ

- 六、不正ノ手段ヲ以テ電信電話ニ關スル料金ヲ免レ又ハ免レントシタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(三十二條)

- 七、自己又ハ他人ニ利益ヲ與ヘ又ハ他人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ虛偽ノ電報ヲ發シタル者ハ一月以上五年以下ノ懲役ニ處シ五十圓以下ノ罰金附加ス(三十三條)本罪電信爲替ニ要スル電報ニ關スルトキハ有期懲役ニ處シ其職ニアル者ノ犯罪ナルトキハ加重セラル

八、電信電話ノ用紙ニ貼用シタル郵便切手ヲ剝奪シタル者其職ニアル者ノ所爲ナルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ未タ消印ヲナササルモノナルトキハ刑法盜罪ヲ以テ論ス(三十四條)

九、官署取扱中ノ電報ヲ正當ノ理由ナクシテ開披、毀損、隱匿放棄シタル者又ハ受取人ニアラサル者ニ交附シ若ハ情ヲ知りテ之ヲ受取リタル者又ハ傳送配達ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ懲役ニ處シ十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(三十五條)其職ニアル者ノ所爲ナルトキハ加重セラル

十、電信若クハ電話ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ其通信ノ取扱ヲ拒絶シ又ハ其傳送ヲ遅延セシメタル者ハ四十圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス(三十六條)

十一、電信線、電話線其他同用ノ機器建物ヲ毀損シ若ハ通信ヲ障碍シタル者ハ一年以上五年以下ノ懲役ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(三十七條)

十二、電信電話線ノ建築修理又ハ線路ノ巡視測量ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ懲役ニ處シ二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス(三十八條)

十三、電信電話ノ線條若ハ其ノ支持物ニ物品ヲ掛ケ若ハ擲チ又ハ之ニ動物若ハ舟筏ヲ繫キ又ハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス

電信又ハ電話線路ノ測量標ヲ毀損汚穢シタル者亦同シ(三十九條)

十四、主務官廳ノ指定シタル水底電信線路若ハ水底電話線路ノ區域内ニ於テ船舶ヲ繫留シ又ハ漁業採藻ヲナシ若ハ土砂ヲ掘鑿シ又ハ水底電信線若ハ水底電話線ノ號標ニ舟筏ヲ繫キ又ハ其號標ヲ毀損シタル者ハ五百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

水底電信線若ハ水底電話線ノ布設又ハ修理ノ爲メ其位置ヲ示スヘキ浮標又ハ其設若ハ修理ニ從事スル船舶ヨリ主務官廳ノ指定シタル距離内ニ於テ前項ノ所爲ヲ爲シタル者亦同シ(四十條)

十五、法人ノ業務ニ關シ代表者又ハ雇人等ノ從業者犯罪ハ法人ニ之ヲ適用ス但シ體刑ニ關スル場合ニ於テハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス(四十二條)



第二節 私設電信規則(三十三年省令四十八號)

- 一、届出及公衆用使用許可ノ規定ニ反スル者ハ二圓以上二十五圓以下ノ罰金ニ處セラ  
ル(二十五條)(六條八條九條一項十條一條)
- 二、届出通知及検査ノ規定ニ反シタル者ハ科料ニ處セラル(二十六條)(七、八、九、  
十條)

第十二編 衛生警察法規

衛生警察ノ事タル日常有要ニシテ且ツ最モ犯シ易キ犯罪ナリ左レハ編者ハ可成的條文  
列記ニ努ムルコトトハナシヌ

第一章 醫師

第一節 醫師法(三十九年法律四十七號)

- 一、拾圓以下ノ罰金(第三條一項、四條一項三項、六條二項、七條八條一項)「醫師法  
施行細則十五條參照」
- 二、貳拾五圓以下ノ罰金(九條十條十二條十三條一項)「同第十六條參照」  
以上ハ皆醫師ニ對スル刑罰ナリ關係條文參照スヘシ
- 三、左ノ場合ニハ五百圓以下ノ罰金ニ處セラル(十一條)

イ、無免許醫業、ロ、停止禁令犯、ニ、無診断ノ診断書及處方箋交附、治療無檢案ノ檢案書死産證書交附、ホ、所定ノ帳簿ニ記入セルトキ、ヘ、誇稱虚偽ノ廣告秘密療法廣告、ト、免許地域外出張所開設（五、六、七、十三條ノ但書）

### 第二節 齒科醫師法（三十九年法律四八號）

一、三百圓以下ノ罰金（十一條）左ノ如シ

一、前號トノ場合ヲ除ク外同一ニ付略ス（五條六條七條）

二、十圓以下ノ罰金（醫師法施行細則十四條參照）

三、貳拾五圓以下ノ罰金（同則第十五條參照）

## 第二章 獸醫

### 第一節 獸醫免許規則（二十三年法律第七十六號）

一、五圓以上三十圓以下ノ罰金（無免許醫業） 十條參照

二、二圓以上廿五圓以下ノ罰金（醫業停止違犯） 十一條參照

三、一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料（依頼拒絶） 十二條參照

## 第三章 産婆

### 第一節 産婆規則（三十二年敕令三四號）

一、五十圓以下ノ罰金ニ處セラルモノ左ノ如シ（十六條）

イ、無免許産婆業、ロ、登録取消サレタル者ノ産婆業、ハ、業務禁止又ハ停止違犯

ニ、虚偽ノ證明又ハ偽述犯、ホ、妊産褥婦又ハ胎兒異常中隨意處置若クハ手術、投

藥、指示、無登録者ノ妊産褥婦又ハ胎兒ノ取扱等

二、以上ノ外第四條三項五條違背者ハ科料ニ處セラル（十七條）

## 第四章 藥品

第一節 藥品營業並藥品取扱規則

(三十二年法律十號)

- 一、四百圓以下ノ罰金ニ處セラルル者左ノ如シ(三九條)
- イ、藥品容器、包紙ニ虛偽記入者、ロ、不適合製造貯藏、販賣、陳列、授與犯(二六、二七條)
- ハ、製造貯藏陳列販賣授與禁止犯(三八條二ノ一項)
- 二、二百圓以下ノ罰金ニ處セラル、者左ノ如シ(三九條ノ二)
- イ、藥劑師無免狀及業務ノ禁止停止處分ノ違背者、ロ、藥劑師ニ非サル者ノ指定藥品販賣授與(三七條ノ二)藥劑師使用ノ藥種商命令違反(三七條ノ三) 指定藥品販賣授與許可制限違反(三七ノ四)
- 三、百圓以下ノ罰金ニ處セラルモノ左ノ如シ(三九條ノ三)

- イ、藥劑師處方調劑等ヲ誤リタルトキ(十四條一項參照)ロ、第十六條十八條二十二條二十五條三十條一項違背者ハ、藥劑師藥品ノ容器包紙ニ記才ヲ誤リ又ハ不適合ノ販賣授與等ナシタルトキ、二、藥種商ノ同上ノ場合、ホ、其筋ニ對シ虛偽ノ答辨又ハ職務執行拒絕、支障、忌避シタル者
- 四、五十圓以下ノ罰金ニ該ル者左ノ如シ(三九條ノ四)
  - イ、無免許藥種商、製藥者又ハ業務ノ禁止停止處分違反者、ロ、廢棄處分不履犯
- 五、二十圓以下ノ罰金ニ處セラルル者(四十條)
  - 十一條、十七條、十九條、二十九條、三十條二項、三十一條、三十二條違背
- 六、一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料左ノ如シ(四十一條)
  - 六、八、十、十二、十三、十四ノ二項、十五、同二項、二十八、三十六、三十七、三十七ノ五ノ各條項違背

第二節 藥品營業並藥品取扱規則第二十六條

二十七條及第三十七條ノ三ニ依ル命

令 (四十年敕令第二七號)

一、第六條ノ藥劑師ニシテ其ノ藥種商ノ營業所以外ニ於テ藥品取扱ニ從事シタル者及第七條ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金(第八條)

第三節 藥品又ハ製劑新輸入發賣届出方

(四十年內務省令二八號)

一、本令違反者ハ貳拾五圓以下ノ罰金ニ處ス

第四節 痘苗及血清其他細菌學的豫防治療

品製造取締規則 (三十六年省令五號)

一、本則ニ違背シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金又ハ二十日以下ノ懲役ニ處ス(四條)

第五節 阿片法(二十年法律二七號)

一、百圓以上五百圓以下ノ罰金該當左ノ如シ(九條)

無許可製造 販賣法違反(三條參照) 此場合ハ阿片ヲ沒收ス

二、三十圓以上 三百圓以下ノ罰金該當者左ノ如シ(十一條)

一、納付規定(二條一項)違反者

三、十圓以上百圓以下ノ罰金該當犯(十二條)七條及八條違反者

第六節 阿片法施行規則

一、五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料(十條參照)

二、二圓以上二十五圓以下ノ罰金(十一條參照)

第七節 藥品検査証則業者取締方(三十年省令二六號)